

内部評価結果調書（施策評価 6）

施策名	商工業の振興
-----	--------

担当部局	担当部局長の氏名
商工観光部	中村基彦

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	I 交流経済都市										
計画項目	(施策)	④ 商工業の振興										
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	人口減少、少子高齢化が急速に進んでいる本市において、若者が帰ってきたいくなるような活気ある故郷を目指し、新しい産業の育成、働く場所の確保、提供が可能となるよう商工業の振興を目的とした施策を展開する。										
めざす目標	商業の販売力を高めます	指標名	年間販売額	総合計画策定時(H17)	104,050百万円	H16	前期基本計画最終実績値	101,441百万円	H19	目標	120,000百万円	H26
		購買力流出入率	79%	H16	84%	H19	100%	H26				
	工業の生産力を高めます	工業従業者1人当りの出荷額	13,956千円	H15	17,874千円	H20	20,000千円	H26				
		事業所数(従業者4人以上)	282件	H15	253件	H20	350件	H26				
※参考 後期基本計画 めざす目標	商業の販売力を高めます	指標名	年間販売額	総合計画策定時(H17)	104,050百万円	H16	後期基本計画策定時	101,441百万円	H19	目標	120,000百万円	H26
		購買力流出入率	79%	H16	84%	H19	100%	H26				
	工業の生産力を高めます	工業従業者1人当りの出荷額	13,956千円	H15	17,874千円	H20	20,000千円	H26				
		事業所数(従業者4人以上)	282件	H15	253件	H20	350件	H26				

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 新たな産業おこしの推進	1 機械金属産業総合振興事業費補助金	1,600	810	○	○	見直し	維持	商工
	有効かつ効果的な展示会に出展して、「丹後ハイテクランド」としての技術集積を広域的にPR							
	2	—						
	3 商工業支援事業	3,571	3,571	○	○	維持	拡大	商工
	市内事業者等を対象に、起業・新商品開発などの事業に対し補助金を交付。経営相談会の開催							
	4 商工業支援事業(製造・加工業経営革新等推進事業補)	5,157	2,604	○	○	維持	維持	産業
	市内製造・加工業を対象に、新事業展開等経営基盤強化やグループ化への取り組みなどに対する補助							
	5 地域総合整備資金貸付事業	407,000	0	○	○	維持	維持	商工
	地域総合整備財団の支援を得て、民間事業者等に供給する無利子資金の貸付を行った							
	6 起業アイデアコンペ開催事業	1,244	814	○	▲	見直し	維持	商工
市内の地域資源を活用した素晴らしいアイデアを考案してもらい、プレゼン形式の発表による審査会を実施								
7 産学連携コーディネート事業	366	366	▲	○	維持	維持	商工	
京都工芸繊維大学の「大学サイエンスフェスタ in Tokyo」に参加し、本市の観光や丹後ちりめんのPRを実施								
8 産学連携推進事業	275	275	○	○	維持	維持	商工	
産学公連携の拠点施設である京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの維持管理								
9 地場産業経営革新等対策事業	213	213	×	×	見直し	拡大	産業	
地域から生み出される製品等を資源と捉え事業対象とし、セミナーの実施やバイヤー・連携企業の招へいなど								
10 人材育成事業	19,211	19,211	○	○	維持	維持	産業	
「丹後・知恵のものづくりパーク」で実施される各種研修事業及び施設等の管理運営にかかる負担金								
2 各産業の連携の強化(四位一体型)	11 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金	31,140	31,140	○	○	維持	維持	産業
	丹後地域地場産業振興センターの運営管理のほか、地場製品のPR、販路拡大などの各種事業に対する補助							
12 企業誘致雇用創生促進事業	2,934	2,934	×	×	維持	維持	産業	
	企業立地が推進される活動を対象に、企業の意向調査、企業訪問、企業情報の把握などを実施							
13 工場立地奨励金	9,086	9,086	○	○	維持	拡大	産業	
	市内立地企業に対して、固定資産税相当額を工場立地奨励金として交付							

3 工業団地の造成と積極的な企業誘致	14	工業団地維持管理事業	79	66	○	○	維持	維持	産業
		工業団地内の水路清掃、外灯修繕等の実施							
	15	工業用地造成事業特別会計繰出金	56,000	56,000	○	○	維持	維持	産業
森本工業団地造成のための特別会計に対し、地方債償還費用等に充当するため、56,000千円を繰出し									
16	工業用地造成事業	586,789	-	○	○	維持	維持	産業	
	造成工事、確定測量業務等を実施								
6 地元商業の振興と事業者への支援	17	指定管理施設運営事業	4,133	4,133	○	○	維持	維持	商工
		京丹後市大宮織物ホール、京丹後市丹後商業活性化センターを京丹後市商工会に指定管理委託							
	18	商工会助成事業	95,040	95,040	○	○	見直し	維持	商工
		京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及びビジネスサポートセンター事業などに対する補助							
	19	信用保証料補助金	120,419	120,419	○	○	維持	維持	商工
		商工業者が事業資金を京都信用保証協会の保証を得て借り入れた場合に、負担した保証料の一部を補助							
	20	あんしん借換資金等利子補給事業	247,952	247,952	○	○	維持	維持	商工
商工業者等が事業資金を借り入れ、その利子を支払われた場合に、負担した利子の一部を補助									
21	あんしん雇用環境づくり事業	135,286	98,406	○	○	維持	維持	産業	
	中小企業事業主に対して、その雇用する労働者を一時的に休業等させた場合の休業手当等の一部を助成								
22	商工業活性化交流事業	2,000	2,000	○	▲	維持	縮小	産業	
	丹後地域産業活性化推進会議の活動に対する分担金								
7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興	23	和装産地関連事業負担金	80	80	○	○	維持	維持	商工
		全国和装産地市町村協議会等への負担金							
	24	ちりめん関連事業補助金	1,440	807	○	○	維持	縮小	商工
		京丹後市きもの交流会の運営に対する補助							
	25	丹後ファッションウィーク開催委員会補助金	7,857	4,057	○	○	維持	維持	商工
		丹後ファッションウィーク開催委員会の運営に対する補助							
	26	織物業実態統計調査事業	105	105	○	○	維持	維持	商工
		平成20年度に実施した京丹後市織物業実態統計調査の報告書を作成し、織物業事業者や関係機関などへ配布							
	27	シルクのまちづくり市町村協議会設立経費	483	483	○	○	維持	拡大	商工
		「シルクのまちづくり市区町村協議会」の設立発起自治体の一つとして、本市が設立準備事務局を担当							
28	峰山織物センター管理運営事業	3,247	3,034	○	○	維持	維持	商工	
	峰山織物センターの適正な管理運営								
29	バイオファイバー活用型丹後ちりめん新展開事業	6,540	5,021	○	○	廃止等	-	産業	
	市内繊維関連製造業を対象として、植物由来製品(バイオファイバー)を活用した独自の新製品の開発など								
30	国産シルク連携丹後ちりめん新展開事業	0	0	×	×	廃止等	-	産業	
	類似する背景を持った事業が別に進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った								
		計	1,749,247	708,627					

## CHECK

① 施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか		
○	◎ 予定以上に進んでいる	理由 工業団地造成事業については想定外の事態が発生し、当初予定より工期が遅れた。また、企業誘致事業については、世界不況の影響により事業実施が遅れた。しかし、その他の事業は、おおむね順調に実施した。
	○ 予定どおり進んでいる	
	▲ 少し遅れている	
	× 大幅に遅れている	
② 事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか		
○	◎ 有効であった	理由 現在の世界不況のなか、即効性のある事業構成ではないが、中長期的な考え方の中では、将来を見据えた事業構成であり、おおむね有効であった。
	○ おおむね有効であった	
	▲ あまり有効でなかった	
	× 有効でなかった	
③ 事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業8、10、14、15、17)		
	事務事業	理由
1	機械金属業総合振興事業費補助金	機械金属業の販路開拓等に非常に有効
3	商工業支援事業	沈滞する市内経済活性化の方策として起業、新商品開発等への支援は最重要課題である。

評価	優先度 高い	4	商工業支援事業(製造・加工業経営革新等推進事業補助金)	経営体力の弱い市内起業の経営基盤強化、異分野進出への支援策
		6	起業アイデアコンペ開催事業	入賞作品が市内業者により製品化されてきている。22年度から、参加を他の大学にも呼びかけている
		9	地場産業経営革新等対策事業	地場企業にとっては人材育成が喫緊の課題であり、体力の弱い企業を支援する必要がある。
		12	企業誘致雇用創生促進事業	工業団地竣工に伴う企業誘致に必要不可欠な事業
		13	工場立地奨励金	これから進めていく企業誘致対策への重要な施策(地域間競争に勝つため必要)
		19	信用保証料補助金	商工業者の経営安定向上を図る上で、もっとも有効な支援策(企業から非常に喜ばれている)
		20	あんしん借換資金等利子補給事業	商工業者の経営安定向上を図る上で、もっとも有効な支援策(企業から非常に喜ばれている)
		25	丹後ファッションウィーク開催委員会補助金	京丹後市の基幹産業である織物業に対する官民挙げての事業への支援
	優先度 低い	事務事業		理由
		7	産学連携コーディネート事業	商工会が実施している事業と重複する内容がある。精査する必要あり
		11	丹後地域地場産業振興センター運営補助金	職員体制に応じた事業の検討が必要
		16	工業団地造成事業	今後は工業団地の販売に重点を置くべき
		18	商工会助成事業	事業内容の精査。他団体との事業の重複等の精査が必要
		21	あんしん雇用環境づくり事業	経済が上向くなか、現状を把握した対応が必要
		22	商工業活性化交流事業	事業内容の精査が必要
24		ちりめん関連事業補助金	事業内容のマンネリ化。他団体との事業内容の精査が必要	
29	バイオファイバー活用型丹後ちりめん新展開事業	当初の目的は達成。今後は民間企業主導で実施を		
30	国産シルク連携丹後ちりめん新展開事業	当初の目的は達成した		

## ACTION



改善	今後の施策展開をどうするか
	<p>本市の経済活性化にとっての喫緊の課題、中期・長期に展開していく課題の整理を行なうなか、予算の配分を考えていく必要がある。但し、関係団体、補助団体の意向を無視した予算付けは無駄なものとなる可能性があるため、今何が行政にも求められているのか慎重に検討しながら市の経済発展のため施策を展開していく。</p> <p>なお、商工会が実施されている事業と本市が実施している事業で重複している部分がないか毎年度検証し、効率的な事業執行を図る。</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	03
細事業名		機械金属産業総合振興事業費補助金				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後機械工業協同組合が実施する、販路開拓事業及び企画列車企画調査事業について支援し、商工業の振興を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 「丹後ハイテクランド」としての技術集積の全国周知

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 有効かつ効果的な展示会に出展して、「丹後ハイテクランド」としての技術集積を広域的にPRすることができた。また、丹後機械金属業界として、企業間連携により地域内の既存の技術を活用して列車製造が可能なのか、また、部分的にでも地域資源を活用した企画列車の製造に関与できないのかについて、可能性の調査を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 展示会への出展 (5展示会) 新潟トランス株式会社への訪問調査(企画列車製造)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	1,600	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 790
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	810
事業費合計		1,600	合計	1,600

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 販路開拓事業については、予定通り実施された。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 販路開拓事業については、予定通り実施された。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 販路開拓事業については、予定通り実施された。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 新たな販路の開拓ひいては商工業の振興を図る上で、妥当なものである。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 新たな販路の開拓ひいては商工業の振興を図る上で、妥当なものである。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 新たな販路の開拓ひいては商工業の振興を図る上で、妥当なものである。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> <td rowspan="3">理由 機械金属業の振興を図る上で有効な手段と考えられ、継続が必要であるが、経営環境に対応するように内容の検討は行うべき。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	B	B 内容の見直し	理由 機械金属業の振興を図る上で有効な手段と考えられ、継続が必要であるが、経営環境に対応するように内容の検討は行うべき。	A	A 現状維持	C
B	B 内容の見直し	理由 機械金属業の振興を図る上で有効な手段と考えられ、継続が必要であるが、経営環境に対応するように内容の検討は行うべき。					
A	A 現状維持						
C	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 厳しい地域経済情勢の中、販路開拓事業は高精度な技術力のPRを通して機械金属産業界の受注に繋がる有効な事業である。今後は、変動する景況に対応するために産学連携による新商品開発等への取組みも必要。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	B 現状維持	理由 厳しい地域経済情勢の中、販路開拓事業は高精度な技術力のPRを通して機械金属産業界の受注に繋がる有効な事業である。今後は、変動する景況に対応するために産学連携による新商品開発等への取組みも必要。	A	A 事業拡大	C
B	B 現状維持	理由 厳しい地域経済情勢の中、販路開拓事業は高精度な技術力のPRを通して機械金属産業界の受注に繋がる有効な事業である。今後は、変動する景況に対応するために産学連携による新商品開発等への取組みも必要。					
A	A 事業拡大						
C	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	12
細事業名		集積活性化・販路開拓支援補助金				

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	吉岡茂昭
担当課等	担当者の氏名
商工振興課	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の産業集積を、より組織的かつ訴求的に機能させ、集積の活性化および効率的な販路開拓を推進するため、市内に拠点を有する同業組合に対し動画による受注促進WEBサイトの構築費用等を補助金として交付する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) 理由 <input checked="" type="radio"/> 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった 理由 <input checked="" type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し 理由 <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了
改善	事業規模の方向性
	<input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> B 現状維持 理由 <input type="radio"/> C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	03
細事業名		商工業支援事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	担当課長の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	担当者の氏名
	増田知裕・金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市
	計画項目 (施策) ④ 商工業の振興
	施策方針 1 新たな産業おこしの推進 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 商工業の振興を図るため、起業・空き店舗活用・新商品開発等の取り組みへの支援、個別の課題解決への支援及び経営者等に必要知識の習得を促進し、地域経済の活性化と雇用の安定を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業の総合的な振興・発展と経営の安定化を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○市内事業者等を対象に、下記の事業に対し「商工業支援補助金」を交付 ・起業・新商品開発・起業及び空き店舗活用案件の事業継続 ○経営課題解決等のため、以下の事業を実施 ・経営相談会 11月に開催。市内2事業者からの相談(経営ビジョン・新販路開拓等)に対応。 ・経営セミナー 本事業での実施なし(丹後地域産業活性化推進会議主催で実施)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業支援補助金 起業3件、新商品開発1件を支援。前年度以前の起業及び空き店舗利用開始に対する事業継続のための支援5件。 経営相談会 地域力連携拠点事業に引き継ぎ、ビジョン策定・販路開拓等を創出。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)	
事業費合計	8	94	財源内訳	国庫支出金	
	19	3,477		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	3,571
				合計	3,571
	事業費合計	3,571			

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 商工業支援補助金については、年度により件数の増減はあるが、起業・新商品開発等については、毎年新案件を支援・創出している。経営相談会及び経営セミナーについては、相談者や受講者が商工会事業を活用して継続的に指導を受け、経営ビジョン策定・販路開拓・新商品開発等につなげ、実益につながっている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 商工業支援補助金については、年度により件数の増減はあるが、起業・新商品開発等については、毎年新案件を支援・創出している。経営相談会及び経営セミナーについては、相談者や受講者が商工会事業を活用して継続的に指導を受け、経営ビジョン策定・販路開拓・新商品開発等につなげ、実益につながっている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 商工業支援補助金については、年度により件数の増減はあるが、起業・新商品開発等については、毎年新案件を支援・創出している。経営相談会及び経営セミナーについては、相談者や受講者が商工会事業を活用して継続的に指導を受け、経営ビジョン策定・販路開拓・新商品開発等につなげ、実益につながっている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 商工業支援補助金については、補助金そのものが起業・新商品開発等に係る経費の一部であり、削減の余地はない。また、経営相談会についても、大阪市から中小企業診断士(税理士)を招聘する中、市場価格より遥かに低い謝金で対応していただいており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 商工業支援補助金については、補助金そのものが起業・新商品開発等に係る経費の一部であり、削減の余地はない。また、経営相談会についても、大阪市から中小企業診断士(税理士)を招聘する中、市場価格より遥かに低い謝金で対応していただいており、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 商工業支援補助金については、補助金そのものが起業・新商品開発等に係る経費の一部であり、削減の余地はない。また、経営相談会についても、大阪市から中小企業診断士(税理士)を招聘する中、市場価格より遥かに低い謝金で対応していただいており、削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 経営資源に乏しく、また、経営知識や課題解決スキルに弱い中小零細事業者にとって、本事業は必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 経営資源に乏しく、また、経営知識や課題解決スキルに弱い中小零細事業者にとって、本事業は必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由 経営資源に乏しく、また、経営知識や課題解決スキルに弱い中小零細事業者にとって、本事業は必要である。			
B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 事業拡大が起業・新商品開発・経営改善等を多く生み出し、それら個々の成果が集まって産業振興となる。平成22度においては、起業家への2年目補助及び空き店舗対策の市内全域適用を行う。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由 事業拡大が起業・新商品開発・経営改善等を多く生み出し、それら個々の成果が集まって産業振興となる。平成22度においては、起業家への2年目補助及び空き店舗対策の市内全域適用を行う。	B 現状維持
A 事業拡大	理由 事業拡大が起業・新商品開発・経営改善等を多く生み出し、それら個々の成果が集まって産業振興となる。平成22度においては、起業家への2年目補助及び空き店舗対策の市内全域適用を行う。			
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	03
細事業名	商工業支援事業(製造・加工業経営革新等推進事業補助金)					

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	新井清宏
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 新事業展開及び業態改善等の主体的経営革新事業を推進し、地域経済の活性化及び雇用の安定を図るため。 事業活用・新事業着手件数 20件 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内製造・加工業を対象に、新事業展開等経営基盤強化やグループ化への取り組み、企業合併等の取り組み、及び異分野への進出に向けた取り組みに対し補助金を交付。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 機械金属関連 2件 食品関連2件 繊維関連1件 計5本交付決定 うち新製品展開4件・新技術展開1件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	5,157	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 2,553
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	2,604
事業費合計		5,157	合計	5,157

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 交付予定件数4件に対し、5件の交付。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 コスト削減の見地に立つ性質の事業でない。交付上限に満たない決定事業があり、執行残をつくった。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し 理由 継続実施により制度の浸透を図り、今後の競争性を高めたい。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 理由 事業拡大のため必要となる制度改正等ハードルを上げることは難しく、経済対策の意味合いから現段階での縮小も難しい。 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	06	01
細事業名		地域総合整備資金貸付事業				

担当部署	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域振興に資する民間事業活動等を支援することにより、商工業等の一層の振興を図り、もって活力と魅力ある地域づくりの推進に寄与する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 企業立地及び新規雇用を推進し、活力と魅力ある地域づくりを実現する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域総合整備財団の支援を得て、民間事業者等に供給する無利子資金の貸付を行った。 ■温泉宿泊施設整備事業 30,000千円 ■新病棟建築事業 250,000千円 ■特別養護老人ホーム等新築事業 127,000千円
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) <新規雇用> 温泉宿泊施設整備事業 21人、新病棟建築事業 43人 特別養護老人ホーム等新築事業 52人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	21	407,000	国庫支出金		
			府支出金		
			起債	地域総合整備資金貸	407,000
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		407,000	合計		407,000

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	地域振興に資する民間事業活動に資金貸付を行うことにより、新たな雇用環境を創出し、定住対策及び雇用促進対策を推進することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○ 削減の余地がなかった	理由	当該貸付事業の資金は起債によりまかなわれ、起債利息の75%が交付税措置される効率性の高い制度設計となっており、かつ国の制度であるため、コスト削減の余地はない。
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 民間事業所による地域振興を後押しする重要な事業である。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 国の制度であり、制度改正がない限り現状維持。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	01
細事業名		起業アイデアコンペ開催事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 4 産学官による研究・開発体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 連携・協力に関する包括協定を提携している京都工芸繊維大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源(自然、地理、文化、歴史、生産物、集積等)を活用して学生の英知を融合させた斬新なアイデアを募集する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) アイデアの起業化・商品化 延べ10件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 起業アイデアコンペに応募予定の学生に対し、京丹後市を紹介する目的でオリエンテーション(1泊2日)を開催し、市内の地域資源を活用した素晴らしいアイデアを考案してもらい、上位アイデアについては、プレゼン形式で発表し、審査員による「最終審査会」を行う。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 起業が可能なアイデアの選定 6案

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	8	650	国庫支出金	
	9	17	府支出金	未来づくり交付金 430
	11	21	起債	
	13	536	分担金・負担金	
	14	20	その他	
			一般財源	814
事業費合計		1,244	合計	1,244

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) 理由 最終審査へ進出したアイデアは優秀なもので、商品化の可能性を秘めている。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由 京都工芸繊維大学と経費の見直しについての協議を行い、可能な限りの削減に努める。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要があるが、商品化されたアイデアが2件、商品化検討のアイデアが4件あり、今後も継続が必要である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	02
細事業名		産学連携コーディネート事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平・永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 4 産学官による研究・開発体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 産学連携により、事業者や事業団体等が持つ技術的・経営的課題を解決し、事業成長を促進することにより商工業の振興を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 「事業経営・技術相談会」相談件数 5件 研究協力体制とのコーディネート 5件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「事業経営・技術相談会」の開催とフォローアップ 京都工芸繊維大学の創立60周年事業の一環として実施される「大学サイエンスフェスタ in Tokyo」に参加し、地域連携先である本市の観光や丹後ちりめんのPRを行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 「事業経営・技術相談会」相談件数 4件 来場者に対する京丹後市の認知度向上、地場産品のPR販売

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	319	財源内訳	国庫支出金	
	12	43		府支出金	
	14	4		起債	
				分担金・負担金	
				その他	
			一般財源	366	
事業費合計		366	合計		366

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中、事業実績としてはやや不振であった。しかし、今後の景気回復期の躍進に向けて相談事業を継続することは必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中、事業実績としてはやや不振であった。しかし、今後の景気回復期の躍進に向けて相談事業を継続することは必要である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中、事業実績としてはやや不振であった。しかし、今後の景気回復期の躍進に向けて相談事業を継続することは必要である。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コーディネートのために必要な経費(旅費)である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	コーディネートのために必要な経費(旅費)である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	コーディネートのために必要な経費(旅費)である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">経営コンサルタント業、マーケティング代行業や本格的な産業技術研究機関が市内に存在しない中、大学との連携は個々の企業や業界にとって、成長を図る上で必須の連携機関であり、引き続き維持・拡大する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	経営コンサルタント業、マーケティング代行業や本格的な産業技術研究機関が市内に存在しない中、大学との連携は個々の企業や業界にとって、成長を図る上で必須の連携機関であり、引き続き維持・拡大する必要がある。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由			経営コンサルタント業、マーケティング代行業や本格的な産業技術研究機関が市内に存在しない中、大学との連携は個々の企業や業界にとって、成長を図る上で必須の連携機関であり、引き続き維持・拡大する必要がある。			
		B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了								
事業規模の方向性									
<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">上記の理由から、企業や業界の成長のために事業の維持・拡大を図る必要がある、担当できるコーディネーターの養成も図っていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	上記の理由から、企業や業界の成長のために事業の維持・拡大を図る必要がある、担当できるコーディネーターの養成も図っていく必要がある。		B 現状維持		C 事業縮小	
B	A 事業拡大	理由			上記の理由から、企業や業界の成長のために事業の維持・拡大を図る必要がある、担当できるコーディネーターの養成も図っていく必要がある。				
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	03
細事業名		産学連携推進事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 4 産学官による研究・開発体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 産学公連携の拠点施設である京都工芸繊維大学京丹後キャンパス(京丹後市京都工芸繊維大学地域連携センター)の維持管理について支援し、商工業の振興を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの維持管理を行った。 ■トイレセンサー交換 ■雨漏り修繕 ■ウッドデッキ塗布用防腐剤購入
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 施設・設備の維持管理を行い、産学公連携拠点の良好な環境を維持することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	275	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		275
事業費合計		275	合計		275

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	09	01
細事業名		地場産業経営革新等対策事業				

担当部署	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 事業者が行なうより価値の高い製品の試作開発、より主体的かつ積極的な販路開拓の取り組みの活発化を図るため、セミナーの実施やバイヤー・連携企業の招へいなど積極的なコーディネート支援を行なう。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) セミナー受講者数 延400人 連携構築 12件
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域の産業が持つ基盤や人材、地域から生み出される製品を資源と捉え事業対象とし、セミナーの実施やバイヤー・連携企業の招へいなどを実施するものであるが、平成21年度は年間を通じた教育訓練等事業の定期実施を進めていたため、講師調整のみを本事業で行ない、本会の実施は他事業展開とした。 また、企業・事業連携の大部分は細節を区別した個別事業として展開した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 講師調整:3人/3回 バイヤー招へい:2人/1回 →商談会出展2社

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	9	176	財源内訳	国庫支出金		
	11	37		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		213
				合計		213

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 景気低迷が続き内外の事業者がさらなる事業の効率化を進める状況下、度重なるセミナー・研修に対する事業者の負担感や連携調整時の価格志向等が顕在化し、頓着なく進めることが難しい状況。(対消費者への直接展開事業は別)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	×	○ 進捗している(できている)	理由 景気低迷が続き内外の事業者がさらなる事業の効率化を進める状況下、度重なるセミナー・研修に対する事業者の負担感や連携調整時の価格志向等が顕在化し、頓着なく進めることが難しい状況。(対消費者への直接展開事業は別)		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
×	○ 進捗している(できている)	理由 景気低迷が続き内外の事業者がさらなる事業の効率化を進める状況下、度重なるセミナー・研修に対する事業者の負担感や連携調整時の価格志向等が顕在化し、頓着なく進めることが難しい状況。(対消費者への直接展開事業は別)					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>×</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 年間を通じた上記の状況下、必要範囲内での執行のほかは執行残とした。結果的に削減余地ができたものであるが、多重手当てを避けること、状況に応じた執行とすることを前提に予算化は要する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	×	○ 削減の余地がなかった	理由 年間を通じた上記の状況下、必要範囲内での執行のほかは執行残とした。結果的に削減余地ができたものであるが、多重手当てを避けること、状況に応じた執行とすることを前提に予算化は要する。		▲ 少し削減の余地があった	
×	○ 削減の余地がなかった	理由 年間を通じた上記の状況下、必要範囲内での執行のほかは執行残とした。結果的に削減余地ができたものであるが、多重手当てを避けること、状況に応じた執行とすることを前提に予算化は要する。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 新事業展開を支援する製造・加工業経営革新等推進事業補助金を本細事業に組み替え、事業者が主体的に行なう事業とコーディネート支援を一体的に展開する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 補助金を組み替え予算化することによる。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	11	01
細事業名		人材育成事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	志水丈浩

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府北部地域のものづくり産業の振興を図ることを目的とした「丹後・知恵のものづくりパーク」に対し、事業及び施設運営等に必要経費を一部負担することにより事業の円滑な実施を促すとともに、地域産業の活性化を促進する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地元企業の人材育成の推進

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 北部人材育成会議に参画し、「丹後・知恵のものづくりパーク」で実施される各種研修事業及び施設等の管理運営について、事業実施主体である(財)京都産業21に対し負担金を支払った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	19,211	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		19,211
事業費合計		19,211	合計		19,211

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来た。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来た。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来た。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後・知恵のものづくりパークの運営やものづくり人材育成を推進していたために必要な経費であり、削減することは難しい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	丹後・知恵のものづくりパークの運営やものづくり人材育成を推進していたために必要な経費であり、削減することは難しい。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	丹後・知恵のものづくりパークの運営やものづくり人材育成を推進していたために必要な経費であり、削減することは難しい。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">北部地域のものづくり産業の振興を図るため、企業ニーズに沿った人材育成事業の実施及び施設管理等に必要な経費を一部負担し、事業の円滑な実施を促進する。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	北部地域のものづくり産業の振興を図るため、企業ニーズに沿った人材育成事業の実施及び施設管理等に必要な経費を一部負担し、事業の円滑な実施を促進する。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	北部地域のものづくり産業の振興を図るため、企業ニーズに沿った人材育成事業の実施及び施設管理等に必要な経費を一部負担し、事業の円滑な実施を促進する。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">人材育成事業及び施設運営管理等に必要な最低限の経費を負担しており、引き続き北部地域のものづくり産業の振興を図り、地域産業の活性化を促進する。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	人材育成事業及び施設運営管理等に必要な最低限の経費を負担しており、引き続き北部地域のものづくり産業の振興を図り、地域産業の活性化を促進する。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	人材育成事業及び施設運営管理等に必要な最低限の経費を負担しており、引き続き北部地域のものづくり産業の振興を図り、地域産業の活性化を促進する。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	01
細事業名		丹後地域地場産業振興センター運営費補助金				

担当部署	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	新井清宏
	志水丈浩

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市
	計画項目 (施策) ④ 商工業の振興
	施策方針 2 各産業の連携の強化(四位一体型)
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後地域における地場産業の振興を図るうえで必要な事業を行い、もって地場産業経済の活性化と地域住民の生活向上に寄与することを目的とする。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 丹後地域地場産業振興センターの施設運営管理のほか、地場製品のPR、販路拡大、新商品開発、人材育成、情報収集・提供等、地場産業の振興を図るための各種事業に対する補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) Tango Good Goods認定(21年度): 認定者数38社 認定点数70点 Tango Good Goods認定累計(19~21年度): 認定者数94社 認定点数258点

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	31,140	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		31,140
事業費合計		31,140	合計		31,140

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">具体的効果、数値効果を計ることが難しいが、販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など事業計画に即した事業が実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を計ることが難しいが、販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など事業計画に即した事業が実施できている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を計ることが難しいが、販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など事業計画に即した事業が実施できている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域における地場産業の振興を図る上で必要な事業を行っているものの、社会情勢を取り巻く状況は日々変化しているため、取り組み事業の再検討も必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	丹後地域における地場産業の振興を図る上で必要な事業を行っているものの、社会情勢を取り巻く状況は日々変化しているため、取り組み事業の再検討も必要である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	丹後地域における地場産業の振興を図る上で必要な事業を行っているものの、社会情勢を取り巻く状況は日々変化しているため、取り組み事業の再検討も必要である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	地場産業の紹介や販路拡大、新商品開発のほか、積極的な地場産品の販売促進の継続、また、安定した地場産センターの運営事業の継続を図るためにも、現状維持していくことが必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	地場産業の振興を図る上で、効率的な運営を行うため、職員体制に応じた事業の再検討も必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	04	01
細事業名		企業誘致雇用創生促進事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 企業立地(企業・工場の新增設や誘致)を促進し、地域内の企業成長に伴う雇用機会の拡大など市民生活の充実・発展と、産業横断的な地域経済の活性化を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新增設・誘致件数 5件 雇用拡大 500人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 企業立地が推進される活動を対象に、企業の意向調査、企業訪問、企業情報の把握、関連制度・施策の検討、京都府との連携などを実施。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) DM送付:2009件 意向調査送付:12,039件 その他企業訪問 DM回答:72件 意向調査回答:1,378件 新增設・誘致実績:オフィス1件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	605	国庫支出金		
	11	149	府支出金		
	13	1,438	起債		
	14	632	分担金・負担金		
	18	30	その他		
	19	80			
一般財源					2,934
事業費合計		2,934	合計		2,934

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">作業としての実績はあげているものの、事業目的を果たす実績・効果に至るまでには程遠い。</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	作業としての実績はあげているものの、事業目的を果たす実績・効果に至るまでには程遠い。	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	作業としての実績はあげているものの、事業目的を果たす実績・効果に至るまでには程遠い。			
× ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">作業量のボリューム維持、継続性を要する事業であるものの、実績・効果に至る効率性は改善の余地がある。</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	作業量のボリューム維持、継続性を要する事業であるものの、実績・効果に至る効率性は改善の余地がある。	× ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	作業量のボリューム維持、継続性を要する事業であるものの、実績・効果に至る効率性は改善の余地がある。			
× ▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市における定住面での魅力、経済面での競争力、市の自立性など多方面にわたる観点から、継続的な事業実施は必要となる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	市における定住面での魅力、経済面での競争力、市の自立性など多方面にわたる観点から、継続的な事業実施は必要となる。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	市における定住面での魅力、経済面での競争力、市の自立性など多方面にわたる観点から、継続的な事業実施は必要となる。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">直近に新工業団地の完成もあり、重点的に進める時期である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	直近に新工業団地の完成もあり、重点的に進める時期である。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	直近に新工業団地の完成もあり、重点的に進める時期である。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	04	02
細事業名		工場立地奨励金				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	蒲田 真穂

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内における工場の新設及び増設を促進することにより、雇用の拡大を図り、もって本市の産業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入)
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内立地企業に対して、京丹後市工場立地促進条例の規定に基づき、従業員規模により3千万円または5千万円以上の設備投資を行い、かつ常用雇用者を3人以上増加させた企業に対して、固定資産税相当額を工場立地奨励金として交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 交付件数 6事業所 交付総額 9,085,800円

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	9,086	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		9,086
事業費合計		9,086	合計		9,086

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 多くの事業者に積極的に活用していただいており、順調に進捗している。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 企業誘致に関する支援制度は、益々重要度を増していく。今後、より充実させていくべき事業であり、コスト削減の余地はない。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 なお一層の産業集積が重要課題といえるため、今後も市による企業立地支援制度は不可欠である。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 企業誘致に関する支援制度は、益々重要度を増していく。今後、より充実させていくべき事業である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	04	04
細事業名		工業団地維持管理事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 工業団地の水路清掃、草刈、修繕等、環境美化に努め、魅力的な立地環境を維持する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 工業団地内の水路清掃、外灯修繕等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	11	37	財源内訳	国庫支出金		
	13	39		府支出金		
	14	3		起債		
				分担金・負担金		
				その他	公有財産使用料	13
					一般財源	66
					合計	79
事業費合計		79	合計		79	

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">土砂等、堆積物の除去、外灯修繕等により適切な維持管理が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	土砂等、堆積物の除去、外灯修繕等により適切な維持管理が図られた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	土砂等、堆積物の除去、外灯修繕等により適切な維持管理が図られた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の範囲で実施。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の範囲で実施。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の範囲で実施。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	現場状況を把握しながら、必要に応じて実施していく。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	10	01
細事業名		工業用地造成事業特別会計繰出金				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 森本工業団地造成事業について、地方債償還金等、一般会計からの繰出しを行い事業の推進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森本工業団地造成のための工業用地造成事業特別会計に対し、地方債償還費用等に充当するため、56,000千円の繰出しを行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	28	56,000	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		56,000
事業費合計		56,000	合計		56,000

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 必要な予算に対して繰出しを行った。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 必要な予算に対して繰出しを行った。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し 理由 地方債償還の終了までは繰出しを行っていく。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 理由 工場用地の早期売却を推進のうえ地方債の繰上償還を実施。残額については償還終了まで繰出しを行う。 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	工業用地造成事業特別会計	01	01	02	01	
	細事業名	工業用地造成事業				

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	新井 清宏
	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市
	計画項目 (施策) ④ 商工業の振興
	施策方針 3 工業団地の造成と積極的な企業誘致
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 大宮町森本地区において工業団地を造成し、市内外から立地企業を募り工場用地を販売する。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 工場用地の売却

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 造成工事、確定測量業務等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	22,038	国庫支出金		
	15	507,099	府支出金		
		57,652	起債	地域開発事業債	529,000
			分担金・負担金		
			その他		60,245
事業費合計		586,789	合計		589,245

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 平成22年度完成、一部売却を目指し工事等を行った。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成22年度完成に向けて工事を行う。
	A B 内容の見直し	
	A C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 事業拡大	理由 平成22年度完成に向けて工事を行う。
B 現状維持		
B C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	03	02	01
細事業名		指定管理施設運営事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	吉岡茂昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の商工業施設について、施設・設備の適正な維持管理及び管理運営等を行い、施設利用者の利便性の向上と合わせて商工業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 指定管理者である京丹後市商工会により、市内の商工業施設・設備について、適正な維持管理及び管理運営等が行われた。 指定管理施設: 京丹後市大宮織物ホール 京丹後市丹後商業活性化センター
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 適正な維持管理等が行われた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	4,133	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		4,133
事業費合計		4,133	合計		4,133

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	01	01
細事業名		商工会助成事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	吉岡茂昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域のコミュニティ活動等に対して補助金を交付し、本市の商工業の振興、発展を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工会員数の拡大

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ①小規模事業経営支援事業費補助金(82,600千円) 京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及びビジネスサポートセンター事業など地域に密着した活動や事業を支援した。 ②織物指導事業費補助金(12,080千円) 織物指導に係る経費の一部を支援した。 ③優良従業員表彰事業費補助金(360千円) 市内の永年勤続従業員のうち、勤続20年の者に対して市長表彰を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 巡回指導4,920件、窓口指導3,934件、金融斡旋98件、専門家派遣143件(68事業所)等会員のニーズに対応した活動を行った。織物指導事業では延べ3,255件の申請があり織物業者の経費軽減を図った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	95,040	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		95,040
事業費合計		95,040	合計		95,040

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業者への経営相談、経営支援等を行うとともに、現下の経済環境に対応するため教育訓練を実施し、市内事業者の雇用維持に努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	商工業者への経営相談、経営支援等を行うとともに、現下の経済環境に対応するため教育訓練を実施し、市内事業者の雇用維持に努めた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	商工業者への経営相談、経営支援等を行うとともに、現下の経済環境に対応するため教育訓練を実施し、市内事業者の雇用維持に努めた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業者への経営支援をはじめ、商工業の振興を図るためには、必要不可欠な支援である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	商工業者への経営支援をはじめ、商工業の振興を図るためには、必要不可欠な支援である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	商工業者への経営支援をはじめ、商工業の振興を図るためには、必要不可欠な支援である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">合併して3年が経過する中で、更に、商工会員に対するスピーディで専門的な対応が求められているとともに、新規の商工会員の獲得が課題である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	合併して3年が経過する中で、更に、商工会員に対するスピーディで専門的な対応が求められているとともに、新規の商工会員の獲得が課題である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	合併して3年が経過する中で、更に、商工会員に対するスピーディで専門的な対応が求められているとともに、新規の商工会員の獲得が課題である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業の振興を図るためには商工会の役割は非常に大きく、その支援は不可欠であり、市は商工会との連携を強化して地域経済の活性化を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	商工業の振興を図るためには商工会の役割は非常に大きく、その支援は不可欠であり、市は商工会との連携を強化して地域経済の活性化を図る必要がある。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	商工業の振興を図るためには商工会の役割は非常に大きく、その支援は不可欠であり、市は商工会との連携を強化して地域経済の活性化を図る必要がある。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	02
細事業名		信用保証料補助金				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 商工業者等が事業に必要な運転資金や設備資金を借り入れた際に負担する、信用保証料の一部を補助することにより、資金調達を円滑化し、もって市内商工業の振興に寄与する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業の総合的な振興・発展と経営の安定を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 補助金交付件数 600件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 商工業者が経営安定のために事業資金を京都信用保証協会の保証を得て借り入れた場合に、負担した保証料の一部を補助金として交付。特に、今年度については全業種補助率100%とし、建設業者のみ上限を60万円とした。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 補助金交付件数 564件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	120,419	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		120,419
事業費合計		120,419	合計		120,419

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">具体的効果、数値効果を図ることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を図ることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと考えられる。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を図ることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと考えられる。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">不況が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化を図る上では、妥当なもの判断できる。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	不況が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化を図る上では、妥当なもの判断できる。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	不況が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化を図る上では、妥当なもの判断できる。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業者の経営の安定化等を図る上では、最も有効な手段と考えられ、継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	商工業者の経営の安定化等を図る上では、最も有効な手段と考えられ、継続が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	商工業者の経営の安定化等を図る上では、最も有効な手段と考えられ、継続が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市内の景況を見定めながら、その補助率等については検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	市内の景況を見定めながら、その補助率等については検討が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	市内の景況を見定めながら、その補助率等については検討が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	01
細事業名		あんしん借換資金等利子補給事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	担当課長の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	担当者の氏名
	金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市
	計画項目 (施策) ④ 商工業の振興
	施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 商工業者等が事業に必要な運転資金や設備資金を借り入れ、返済の際に負担する利子の一部を補給することで、資金の調達を円滑にし、もって市内商工業の振興に寄与する。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業の総合的な振興・発展と経営の安定を図る。 補助金交付件数 2,000件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 商工業者等が経営安定のために事業資金を借り入れ、その利子を支払われた場合に、負担した利子の一部を補助した。特に、今年度は『あんしん借換融資』に係る利子については全額補給を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 補助金交付件数 2,015件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	247,952	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		247,952
事業費合計		247,952	合計		247,952

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 具体的効果、数値効果をはかることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと思われる。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 具体的効果、数値効果をはかることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと思われる。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 具体的効果、数値効果をはかることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと思われる。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 景気低迷が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化をはかるうえでは、妥当なもの判断できる。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 景気低迷が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化をはかるうえでは、妥当なもの判断できる。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 景気低迷が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化をはかるうえでは、妥当なもの判断できる。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 商工業の経営の安定化等を図る上では、もっとも有効な手段と考えられ、継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 商工業の経営の安定化等を図る上では、もっとも有効な手段と考えられ、継続が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 商工業の経営の安定化等を図る上では、もっとも有効な手段と考えられ、継続が必要である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 市内の景況を見定めながら、その補給率等については検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 市内の景況を見定めながら、その補給率等については検討が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 市内の景況を見定めながら、その補給率等については検討が必要である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-21

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	05	01	01	05	01
細事業名		あんしん雇用環境づくり事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井 清宏
担当者の氏名	蒲田 真穂

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 事業活動の縮小を余儀なくされた事業者を支援することにより、解雇の徹底予防を図るとともに、事業主の経費負担の軽減を図り、もって市民生活の安定を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業事業主に対して、その雇用する労働者を一時的に休業または出向させた場合の休業手当等に係る基準賃金額の一部を助成した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 交付件数 987件 交付総額 135,285,624円

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	135,286	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 36,880
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	98,406
事業費合計		135,286	合計	135,286

<b>CHECK</b>					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援として、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図ることが出来た。また、事業主の経費負担の軽減を図ることが出来た。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援として、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図ることが出来た。また、事業主の経費負担の軽減を図ることが出来た。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援として、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図ることが出来た。また、事業主の経費負担の軽減を図ることが出来た。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民生活の安定を図るため、事業主の経費負担の軽減に努め、解雇の徹底予防を図るためのものであり、削減の余地はまったくない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市民生活の安定を図るため、事業主の経費負担の軽減に努め、解雇の徹底予防を図るためのものであり、削減の余地はまったくない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	市民生活の安定を図るため、事業主の経費負担の軽減に努め、解雇の徹底予防を図るためのものであり、削減の余地はまったくない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

<b>ACTION</b>								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">解雇の徹底予防を図るためにも、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援が必要であり、本事業内容を見直す必要はない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	解雇の徹底予防を図るためにも、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援が必要であり、本事業内容を見直す必要はない。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	解雇の徹底予防を図るためにも、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者への支援が必要であり、本事業内容を見直す必要はない。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">経済情勢に左右されるものであり、当面は厳しい状況であることが予想されることから、事業規模は現状維持していくことが必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	経済情勢に左右されるものであり、当面は厳しい状況であることが予想されることから、事業規模は現状維持していくことが必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	経済情勢に左右されるものであり、当面は厳しい状況であることが予想されることから、事業規模は現状維持していくことが必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-22

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	08	01
細事業名		商工業活性化交流事業				

担当部署	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
産業雇用総合振興課	新井 清宏
	柳内 研一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市
	計画項目 (施策) ④ 商工業の振興
	施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域産業の活性化を図るために活動を行なっている『丹後地域産業活性化推進会議』に対し、運営補助を行う。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域産業の活性化を図るために活動を行なっている『丹後地域産業活性化推進会議』に対し、活動分担当として2,000千円の財政支援を行った。(交付先の実績:京丹後への誘客に向けた情報発信事業、営業力・販売力強化のためのセミナー開催等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	2,000	国庫支出金	
			府支出金	
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	2,000
事業費合計		2,000	合計	2,000

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">入込観光客の増加に向けて、FM放送による積極的なPR活動を実施するなど、市内産業の活性化に向けた活動が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	入込観光客の増加に向けて、FM放送による積極的なPR活動を実施するなど、市内産業の活性化に向けた活動が図られた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	入込観光客の増加に向けて、FM放送による積極的なPR活動を実施するなど、市内産業の活性化に向けた活動が図られた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域産業活性化推進会議では、自主財源がない中で、関係団体より分担金を徴収し事業実施しているが、結果として繰越金が発生している状況にある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	丹後地域産業活性化推進会議では、自主財源がない中で、関係団体より分担金を徴収し事業実施しているが、結果として繰越金が発生している状況にある。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	丹後地域産業活性化推進会議では、自主財源がない中で、関係団体より分担金を徴収し事業実施しているが、結果として繰越金が発生している状況にある。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域産業活性化推進会議への財政支援については、今後も進めていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	丹後地域産業活性化推進会議への財政支援については、今後も進めていく。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	丹後地域産業活性化推進会議への財政支援については、今後も進めていく。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">丹後地域産業活性化推進会議の活動の多様化は期待できるが、市は補助額の縮減を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大	理由	丹後地域産業活性化推進会議の活動の多様化は期待できるが、市は補助額の縮減を図る。		B 現状維持	
C	A 事業拡大	理由	丹後地域産業活性化推進会議の活動の多様化は期待できるが、市は補助額の縮減を図る。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-23

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	04
細事業名		和装産地関連事業負担金				

担当部局	商工観光部
担当課等	担当課長の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	担当者の氏名
	永島一陽

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ・全国の和装産地における和装振興策や流通実態について情報の交換や共有を図り、産地のみならず和装産業全体の振興を図る。 ・丹後ちりめん始祖(森田翁)の遺徳を偲ぶ式典経費を支援することで、丹後ちりめん産業の復興を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 和装産地自治体および企業が連携した和装プロモーションならびに商品開発の取り組み実現

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ・全国和装産地市町村協議会に負担金(30千円)を支払い、協議会活動に協力した。 ・森田翁顕彰会に負担金(50千円)を支払い、丹後ちりめん産業の振興に寄与した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 協議会活動への参加による和装業界や産地情報の入手、和装の魅力や産地情報発信(参加自治体:18市町、情報紙発行:年1回、稀少道具類に関する調査研究、きものサミットin京都・西陣への参加)、ちりめん始祖森田翁慰霊祭(H21.11.2開催)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	80	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		80
事業費合計		80	合計		80

<b>CHECK</b>					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全国の和装産地や業界の状況、また和装産業の振興に向けた取り組みなどを情報共有する機関として機能している。また、協議会のスケールメリットを活かし、産地ならびに和装のプロモーション事業が実施されている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	全国の和装産地や業界の状況、また和装産業の振興に向けた取り組みなどを情報共有する機関として機能している。また、協議会のスケールメリットを活かし、産地ならびに和装のプロモーション事業が実施されている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	全国の和装産地や業界の状況、また和装産業の振興に向けた取り組みなどを情報共有する機関として機能している。また、協議会のスケールメリットを活かし、産地ならびに和装のプロモーション事業が実施されている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">協議会の活動内容に対する本市の負担金の額は妥当である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	協議会の活動内容に対する本市の負担金の額は妥当である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	協議会の活動内容に対する本市の負担金の額は妥当である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

<b>ACTION</b>								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-24

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	05
細事業名		ちりめん関連事業補助金				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市きもの交流会が行う会員の事業経営や商品開発等に係る能力の向上、加えて、和装や丹後織物の魅力発信を目的とした活動に対し支援を行い、本市の織物業ならびに関連産業の振興を図る。 事業の目的 (何を対象に、何をしたか) 京丹後市きもの交流会に対し、運営補助金として1,440千円の財政支援を行うとともに、事務局として事業事務などの支援を行った。 平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 和装や丹後織物の魅力発信(京都文化博物館、大学サイエンスフェスタin Tokyo、きもの日和2010with目黒雅叙園、第59回京丹後ちりめん祭への出展)、会員の能力向上(視察研修1回)、市民への啓蒙・啓発(ちりめん卒業証書の製作)など
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 会員数の増加(22→25)、会員の全市拡大(H21年度時点:網野、丹後、峰山) 観光業者などとの誘客を目的とした連携事業の実施(年数回)

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市きもの交流会に対し、運営補助金として1,440千円の財政支援を行うとともに、事務局として事業事務などの支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 和装や丹後織物の魅力発信(京都文化博物館、大学サイエンスフェスタin Tokyo、きもの日和2010with目黒雅叙園、第59回京丹後ちりめん祭への出展)、会員の能力向上(視察研修1回)、市民への啓蒙・啓発(ちりめん卒業証書の製作)など

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	1,440	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 633
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	807
事業費合計		1,440	合計	1,440

<b>CHECK</b>					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民に対し、交流会が実施する事業への参加や活動情報の発信などを通じて団体をPRしている。また、H21年度において、観光協会や旅行会社と連携し、きもの体験モニターツアーを実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民に対し、交流会が実施する事業への参加や活動情報の発信などを通じて団体をPRしている。また、H21年度において、観光協会や旅行会社と連携し、きもの体験モニターツアーを実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民に対し、交流会が実施する事業への参加や活動情報の発信などを通じて団体をPRしている。また、H21年度において、観光協会や旅行会社と連携し、きもの体験モニターツアーを実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京丹後市きもの交流会においては、会員の能力向上、和装や丹後織物の魅力発信、市民への啓蒙・啓発などを目的に積極的に活動を展開しており、その効果は大きいものと評価している。市の財政支援は妥当な額であると考えているが、市の財政事情も考慮し、H22年度は補助金の7%カットを実施する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	京丹後市きもの交流会においては、会員の能力向上、和装や丹後織物の魅力発信、市民への啓蒙・啓発などを目的に積極的に活動を展開しており、その効果は大きいものと評価している。市の財政支援は妥当な額であると考えているが、市の財政事情も考慮し、H22年度は補助金の7%カットを実施する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	京丹後市きもの交流会においては、会員の能力向上、和装や丹後織物の魅力発信、市民への啓蒙・啓発などを目的に積極的に活動を展開しており、その効果は大きいものと評価している。市の財政支援は妥当な額であると考えているが、市の財政事情も考慮し、H22年度は補助金の7%カットを実施する。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

<b>ACTION</b>								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後も団体が積極的にを行う織物業や地域振興に寄与する活動に対し、財政ならびに人的な面から支援を行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	今後も団体が積極的にを行う織物業や地域振興に寄与する活動に対し、財政ならびに人的な面から支援を行う。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	今後も団体が積極的にを行う織物業や地域振興に寄与する活動に対し、財政ならびに人的な面から支援を行う。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">団体の事業活動を阻害しないためにも、補助金の削減は考えたくないところであるが、市の財政事情も考慮し、H22年度より3年間で約2割の補助金カットを行うものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大	理由	団体の事業活動を阻害しないためにも、補助金の削減は考えたくないところであるが、市の財政事情も考慮し、H22年度より3年間で約2割の補助金カットを行うものとする。		B 現状維持	
C	A 事業拡大	理由	団体の事業活動を阻害しないためにも、補助金の削減は考えたくないところであるが、市の財政事情も考慮し、H22年度より3年間で約2割の補助金カットを行うものとする。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	06
細事業名	丹後ファッションウィーク開催委員会補助金					

担当部署	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか)</p> <p>「丹後織物」の新しい魅力の発信による認知度の向上と、日本最大の絹織物産地「丹後」の競争力の強化を図るため、新たな販路開拓、産官学連携の強化並びに和装産地間の連携を骨格に開催される「丹後ファッションウィーク事業」の実施団体(TFW開催委員会)に対して支援を行い、丹後織物関連産業の活性化を推進する。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</p> <p>繊維素材見本市での有効商談件数:1社10件以上(H21:16企業参加、1社平均5件) 産官学連携事業・連携校数:5校以上 和装産地間連携プロモーション事業の実施による和装需要の増加</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) TFW開催委員会に運営補助金として7,857千円の財政支援を行うとともに、事務局として事業事務などの支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)
	繊維素材見本市での有効商談件数:81件(16企業)、丹後織物ならびに産地のPR 産官学連携事業における連携校数:4校(関西圏のファッション関連校) 京都市との和装産地間連携事業の実施による和装ならびに丹後織物の魅力発信

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	7,857	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 3,800
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	4,057
事業費合計		7,857	合計	7,857

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<p>○ 進捗している(できている)</p> <p>▲ 少し遅れている(少しできていない)</p> <p>× 遅れている(できていない)</p> <p>理由 繊維素材見本市では、新規顧客および既存顧客との商談実績があり、丹後織物の需要拡大につながっている。産官学連携事業の継続により、関西圏のファッション関連校4校との信頼関係が構築されつつある。和装ならびに産地プロモーションを目的とした京都市との連携体制が構築されつつある。</p>
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<p>○ 削減の余地がなかった</p> <p>▲ 少し削減の余地があった</p> <p>× 削減の余地があった</p> <p>理由 丹後産地の減退は危機的な状況にあり、丹後全体でその振興に取り組む本事業の必要性は年々高まるものである。なお、事業規模縮小による全体経費の削減は可能である。</p>

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 今後も産地が一丸となり取り組むことが重要。販路開拓やファッション関連校との関係構築は、短期間で成果を得にくいため継続した取り組みが求められる。毎回、より効果的で実需につながるよう内容の見直しを行うとともに、他産地との連携も視野に入れて取り組む。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 市の基幹産業への支援は必要不可欠。従来の販路開拓、産官学連携事業に、21年度からは京都市との連携事業が加わり、事業全体としては拡大傾向にある。今後も限られた財源の使途を工夫するなど、それぞれの事業がより効果的で実需につながる取り組みとなるよう努める。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	05	01
細事業名		織物業実態統計調査事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の基幹産業の一つである織物業の振興に必要な施策を検討するため、市内織物業者を対象に実態調査を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 調査票回収率の向上:95%

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年度に実施した京丹後市織物業実態統計調査の報告書を作成し、織物業事業者や関係機関などへの配布を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 調査報告書作成数:300部 調査報告書配布数:156ヶ所 市内の織物業の実態把握、統計情報提供

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	105	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		105
事業費合計		105	合計		105

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物業事業者や関係機関などにフィードバックすることも重要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物業事業者や関係機関などにフィードバックすることも重要である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物業事業者や関係機関などにフィードバックすることも重要である。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">前年度に実施した実態調査の結果を集計・製本し、市内の織物業事業者や関係機関にフィードバックすることは、先の織物業の振興・発展を図る上で必要である。調査報告書の作成にあたっては、集計作業は職員が行い、製本のみ外注した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	前年度に実施した実態調査の結果を集計・製本し、市内の織物業事業者や関係機関にフィードバックすることは、先の織物業の振興・発展を図る上で必要である。調査報告書の作成にあたっては、集計作業は職員が行い、製本のみ外注した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	前年度に実施した実態調査の結果を集計・製本し、市内の織物業事業者や関係機関にフィードバックすることは、先の織物業の振興・発展を図る上で必要である。調査報告書の作成にあたっては、集計作業は職員が行い、製本のみ外注した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由</td> <td>次回の調査については、費用対効果も勘案し、平成23年度に実施される経済センサス全数調査にあわせて実施する。なお、今後の事業所数の増減や業況の変化を踏まえ、調査規模や内容の見直しを行うものとする。</td> </tr> </table>	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由
A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	次回の調査については、費用対効果も勘案し、平成23年度に実施される経済センサス全数調査にあわせて実施する。なお、今後の事業所数の増減や業況の変化を踏まえ、調査規模や内容の見直しを行うものとする。	
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由</td> <td>事業所数が減少した場合は、それに伴い調査経費の節減を図る。</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由
B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	事業所数が減少した場合は、それに伴い調査経費の節減を図る。	

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	12	01
細事業名	シルクのまちづくり市町村協議会設立経費					

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) シルクに関連する産業またはシルクに関係する歴史・文化を持つ市区町村等で組織する「シルクのまちづくり市町村協議会」の活動に参加し、もってシルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを推進する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 会員市区町村の増加:30自治体(H21年度:25) 顧問・協賛団体の増加:顧問15(H21年度:9)、協賛団体30(H21年度:23) 産地間で連携した商品開発や展示会の合同開催などの取り組み実現

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「シルクのまちづくり市町村協議会」の設立発起自治体の一つとして、本市が設立準備事務局を担い、平成22年1月26日に全国24自治体が集結し協議会が発足。協議会設立後は、本市が事務局を担い、シルク産業の振興・発展に向け活動を展開した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) シルクに関係する全国の自治体(25)、業界団体および関係者による連携体制の構築 特別会員(経済産業省繊維課長ほか4名)、顧問(ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナーなど9名)、協賛団体(シルク関連業界23団体)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	346	財源内訳	国庫支出金	
	11	134		府支出金	
	12	3		起債	
		分担金・負担金			
		その他			
				一般財源	483
事業費合計		483		合計	

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) 理由 自治体や業界団体および関係者による全国規模の協議会が発足。シルク産業の活性化に向けた礎ができた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由 協議会設立の中心自治体として設立準備事務局を担い、今後も事務局として協議会活動を牽引する必要があることから必要である。

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 H22年度より協議会活動を本格化し、まずは会員自治体間でのシルク産業・文化に関わる諸課題の共有と情報交換を中心に、シルク産業の活性化に向けた政策と課題の研究、シルク産業・文化の魅力発信などに取り組んでいく。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 H22年度より本格的に協議会活動が展開されるが、本協議会への会員負担はゼロなので、協議会の自主財源確保のため、国などの補助事業を活用して事業を実施していく。協議会活動への参加にあたり、本市が支出する経費は、職員の旅費と情報誌の購読料等である。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	03	01	01
細事業名		峰山織物センター管理運営事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	担当課長の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	担当者の氏名
	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 織物業の振興及び住民の福祉増進のため、峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 施設利用件数:700件(H21:656件) 施設利用者数:10,000人(H21:9,179人)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 各種文化団体や福祉団体の活動増進に寄与するため、また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館が行う技能の取得や能力の向上を目的とした各種教室など、広く市民の利用に供するよう、施設の適正な維持管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 施設利用件数:656件 施設利用者数: 9,179人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	1,062	財源内訳	国庫支出金	
	12	52		府支出金	
	13	1,933		起債	
	14	200		分担金・負担金	
			その他	公有財産使用料	110
				センター使用料	103
			一般財源		3,034
事業費合計		3,247	合計		3,247

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の安全かつ快適な維持管理運営に努めることにより、各種文化団体や福祉団体利用者の各種活動の増進に寄与した。また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得や能力の向上などスキルアップの場として多くの市民に利用された。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設の安全かつ快適な維持管理運営に努めることにより、各種文化団体や福祉団体利用者の各種活動の増進に寄与した。また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得や能力の向上などスキルアップの場として多くの市民に利用された。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	施設の安全かつ快適な維持管理運営に努めることにより、各種文化団体や福祉団体利用者の各種活動の増進に寄与した。また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得や能力の向上などスキルアップの場として多くの市民に利用された。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市の財政状況が厳しい中で、事業予算も年々削減されており、必要最低限の予算で維持管理運営を行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市の財政状況が厳しい中で、事業予算も年々削減されており、必要最低限の予算で維持管理運営を行っている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	市の財政状況が厳しい中で、事業予算も年々削減されており、必要最低限の予算で維持管理運営を行っている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	09	02
細事業名		バイオフィ이버活用型丹後ちりめん新展開事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	宇野浩嗣

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内織物業の構造改善、企業・事業間連携の促進、製品の多様化・高付加価値化を推進する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新・丹後ちりめんの展開:各素材分野 企業・事業間連携:外部企業1件 外的普及展開:3件
事業の目的	市内織物業の構造改善、企業・事業間連携の促進、製品の多様化・高付加価値化を推進する。 平成26年度事業の効果目標

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内織維関連製造業を対象として、植物由来製品(バイオフィ이버)を活用した独自の新製品の開発と、それらを活用した商談会等における普及・販路開拓、主体的な市場間連携の構築を試みる一連事業を展開。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内着手企業:5件 大手企業とのBtoB新連携の構築 国際万国博覧会への製品採用 織研合織賞受賞 新聞掲載15件 テレビ放映2件 雑誌掲載2件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	8	513	国庫支出金	電源地域産業育成支 1,519
	9	676	府支出金	
	11	390	起債	
	13	3,597	分担金・負担金	
	14	1,090	その他	
	19	274		
			一般財源	5,021
事業費合計		6,540	合計	6,540

<b>CHECK</b>					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">件数実績は順調に推移した。今後、産地全体を通してこのような活動の能動的展開が図られるよう動機を与えていくことが必要。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	件数実績は順調に推移した。今後、産地全体を通してこのような活動の能動的展開が図られるよう動機を与えていくことが必要。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	件数実績は順調に推移した。今後、産地全体を通してこのような活動の能動的展開が図られるよう動機を与えていくことが必要。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">年間計画に基づいた直近の必要経費を予算化した事業であるため、削減余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	年間計画に基づいた直近の必要経費を予算化した事業であるため、削減余地はなかった。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	年間計画に基づいた直近の必要経費を予算化した事業であるため、削減余地はなかった。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

<b>ACTION</b>					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本事業は本来、事業者が個別に進める性質の事業をコーディネートする支援のため、21年度の実績に基づいた事業者による主体的な継続実施を促進し、平成22年度は予算計上は行なわない。</td> </tr> <tr> <td>C B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	本事業は本来、事業者が個別に進める性質の事業をコーディネートする支援のため、21年度の実績に基づいた事業者による主体的な継続実施を促進し、平成22年度は予算計上は行なわない。	C B 内容の見直し
A 現状維持	理由	本事業は本来、事業者が個別に進める性質の事業をコーディネートする支援のため、21年度の実績に基づいた事業者による主体的な継続実施を促進し、平成22年度は予算計上は行なわない。			
C B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由		B 現状維持
A 事業拡大	理由				
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
5-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	09	03
細事業名		国産シルク連携丹後ちりめん新展開事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	産業雇用総合振興課
担当課長の氏名	新井清宏
担当者の氏名	宇野浩嗣

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 養蚕業や流通業と連携した一気通貫のものづくり、消費者によりわかりやすい価値提供ができる仕組みの構築を図るため。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 産地連携基盤の構築 マッチング機会の提供: 3件 繊維関連製造業の業態改善

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) なし (予算額: 272千円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) なし

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">他課において類似する背景を持った事業が進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った。(シルクのまちづくり市町村協議会事業)</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	他課において類似する背景を持った事業が進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った。(シルクのまちづくり市町村協議会事業)	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	他課において類似する背景を持った事業が進められ、2元的な事業展開を避けるため、本事業の実施を見送った。(シルクのまちづくり市町村協議会事業)			
× ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">不執行のため。</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	不執行のため。	× ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	不執行のため。			
× ▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	別事業内で一元的に進める。
	C B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	
B 現状維持			
C 事業縮小			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事 業 名	07 産学連携推進コ-デ-イネ-ト事業		
細 事 業 名	03 産学連携推進事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,875千円	1,920千円	45千円	97.6 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京都工芸繊維大学京丹後キャンパス（京丹後市京都工芸繊維大学地域連携センター）の修繕等を行うことで、京丹後市の産学公連携の拠点施設の維持に努めた。

- 京丹後キャンパス内の故障箇所の修繕費 275千円
  - ・ トイレセンサー交換
  - ・ 雨漏り修繕
  - ・ ウッドデッキ塗布用防腐剤購入

丹後機械工業協同組合が実施する販路開拓事業（交流促進事業）に対して補助金を交付し、「丹後ハイテクランド」としての集積技術を、有効かつ効果的な展示会に出展し広域的にPRした。また、丹後機械金属業界として、企業間連携により既存の技術を活し、鉄道車両の製造について、その可能性の調査を行った。

- 機械金属産業総合振興事業費補助金 1,600千円

**【出展展示会】**

- ・ 難加工技術展2009（7月7日～9日：ポートメッセ名古屋）
- ・ 第13回機械要素技術展（6月24日～26日：東京ビックサイト）
- ・ 第12回関西機械要素技術展（10月7日～9日：インテックス大阪）
- ・ テクノメッセ東大阪2009（11月6日～7日：マイドーム大阪）
- ・ 京都ビジネスパートナー交流会2010（2月18日～19日：京都パルスプラザ）

**【鉄道車両製造に係る調査】**

- ・ 視察先 新潟トランス株式会社
- ・ 視察日 平成21年11月26日

※専門的な知識・経験・ノウハウ・設備が必要であり、丹後地域では困難

**【事務事業評価】**

産学公の連携拠点施設の維持及び産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「産官学による研究・開発体制の確立」を図る上でも必要な事業である。

販路開拓については継続して事業実施し、経営環境に合わせて産学連携による新商品開発等の取り組みに対しても支援をしていく。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり補助金（機械金属産業総合振興事業費補助金） 790千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	03 経営支援事業			決算書
細 事 業 名	03 商工業支援事業			P.256
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
8,728千円	9,731千円	1,003千円	89.6 %	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

市内事業者及び市民が行う事業等に対して支援を行った。

○商工業支援事業補助金 3,477千円

市内の商工業者等が行う下記の事業に対して補助金を交付した。

- ・ 新商品・新製品開発事業 1件 287千円
- ・ 起業家支援事業 3件 1,500千円
- ・ 起業家支援事業に伴う家賃補助 9件 1,510千円
- ・ 空き店舗対策事業に伴う家賃補助 1件 180千円

○製造・加工業経営革新等推進事業補助金 5,157千円

市内の製造・加工業者を対象に、新事業展開等経営基盤強化やグループ化への取り組み、企業合併等の取り組み及び異分野への進出に向けた取り組みに対して補助金を交付した。(補助率1/2、上限2,000千円)

- ・ 新製品展開に対するもの 4件 3,157千円
- ・ 新技術展開に対するもの 1件 2,000千円

○経営相談会の開催 開催日 11月20日 相談件数2件 44千円

市内事業者個々の課題解決や経営改善へ向けたアドバイスを行うため、専門家(中小企業診断士)による個別相談会を開催。販路拡大、経営ビジョンについての相談を受けるとともに、商工会事業を活用して当該専門家によるフォローアップを実施し、販路開拓や顧客アンケートの実施にもとづくビジョン策定へとつなげた。

また、相談会以外にも随時相談対応を行い、商工会事業を活用して専門家派遣によるアドバイスを行った。(6社 延14回)

○「誌上経営セミナー」原稿作成謝礼 50千円

京丹後市広報へ毎月掲載、紙面にて経営についてのアドバイスを行った。

### 【事務事業評価】

本事業は、市内事業者個々が行う経営革新・経営改善・新商品開発及び市民が行う起業等について、事業者個別の状況に対応した支援を行うものであり、「個々の事業体の集合」である産業に、ダイレクトに効果をもたらす事業である。自社の強みを活用した経営が求められる現代において、事業の必要性は高い。

### 【主な特定財源】

府補 未来づくり交付金(製造・加工業経営革新等推進事業補助金) 2,553千円

事業所管課	商工観光部/商工振興課・産業雇用総合振興課
-------	-----------------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	03 経営支援事業			決算書
細 事 業 名	03 商工業支援事業			P.256
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
8,728千円	9,731千円	1,003千円	89.6 %	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

市内事業者及び市民が行う事業等に対して支援を行った。

○商工業支援事業補助金 3,477千円

市内の商工業者等が行う下記の事業に対して補助金を交付した。

- ・ 新商品・新製品開発事業 1件 287千円
- ・ 起業家支援事業 3件 1,500千円
- ・ 起業家支援事業に伴う家賃補助 9件 1,510千円
- ・ 空き店舗対策事業に伴う家賃補助 1件 180千円

○製造・加工業経営革新等推進事業補助金 5,157千円

市内の製造・加工業者を対象に、新事業展開等経営基盤強化やグループ化への取り組み、企業合併等の取り組み及び異分野への進出に向けた取り組みに対して補助金を交付した。(補助率1/2、上限2,000千円)

- ・ 新製品展開に対するもの 4件 3,157千円
- ・ 新技術展開に対するもの 1件 2,000千円

○経営相談会の開催 開催日 11月20日 相談件数2件 44千円

市内事業者個々の課題解決や経営改善へ向けたアドバイスを行うため、専門家(中小企業診断士)による個別相談会を開催。販路拡大、経営ビジョンについての相談を受けるとともに、商工会事業を活用して当該専門家によるフォローアップを実施し、販路開拓や顧客アンケートの実施にもとづくビジョン策定へとつなげた。

また、相談会以外にも随時相談対応を行い、商工会事業を活用して専門家派遣によるアドバイスを行った。(6社 延14回)

○「誌上経営セミナー」原稿作成謝礼 50千円

京丹後市広報へ毎月掲載、紙面にて経営についてのアドバイスを行った。

### 【事務事業評価】

本事業は、市内事業者個々が行う経営革新・経営改善・新商品開発及び市民が行う起業等について、事業者個別の状況に対応した支援を行うものであり、「個々の事業体の集合」である産業に、ダイレクトに効果をもたらす事業である。自社の強みを活用した経営が求められる現代において、事業の必要性は高い。

### 【主な特定財源】

府補 未来づくり交付金(製造・加工業経営革新等推進事業補助金) 2,553千円

事業所管課	商工観光部/商工振興課・産業雇用総合振興課
-------	-----------------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事業名	06 地域総合整備資金貸付事業		
細事業名	01 地域総合整備資金貸付事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
407,000千円	412,000千円	5,000千円	98.7%

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域振興に資する民間事業活動に対して、地域総合整備財団の支援を得て地方債を原資とした無利子資金の貸付（対象費用に係る借入総額の2割が限度）を行うことにより、活力と魅力ある地域づくりを推進するとともに、新たな雇用を生み出すことができた。

○ 地域総合整備資金貸付金 407,000千円

事業名	温泉宿泊施設整備事業	新病棟建築事業	特別養護老人ホーム等新築事業
貸付先	株式会社シマダ	財団法人丹後中央病院	社会福祉法人あしぎぬ福祉会
貸付金額	30,000千円	250,000千円	127,000千円
総事業費	151,000千円	1,343,000千円	880,000千円
新規雇用者数	21人	43人	52人
貸付日	H21.9.29	H22.5.10	H22.5.28
第1回返済期日	H22.3.15	H24.9.15	H24.3.15
最終返済期日	H36.3.15	H37.3.15	H37.3.15

【新規雇用者数 合計116人】

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	407,000千円
	実質的な予算執行率	100.0%

※平成22年度への繰越事業

5,000千円

<株式会社かね正アグリシステム> 農畜産物集出荷貯蔵施設建設事業

平成22年6月完了

**【事務事業評価】**

地域振興に資する民間事業活動に資金貸付を行うことにより、事業活動の活性化と新たな雇用環境を整備し、産業振興及び雇用促進・定住化対策を推進することができた。民間事業所による地域振興を後押しする重要な事業である。

**【主な特定財源】**

市債 地域総合整備資金貸付事業債 407,000千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	07 産学連携推進コ-デ-イネ-ト事業			決算書
細事業名	01 起業アイデアコンペ開催事業			P.256
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
1,244千円	1,281千円	37千円	97.1%	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

「連携・協力に関する包括協定」を締結している国立大学法人京都工芸繊維大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源（自然、文化、歴史、生産物等）を理解してもらうため、8月にオリエンテーション（1泊2日）を実施。その後、その地域資源を活用した斬新な起業（事業）アイデアを大学側で募集、学内での審査を通過した6件によるコンペティションを京丹後キャンパスで行った。

また、コンペの対象となったアイデアについては、昨年度以前のものも含めて利用事業者を募集し、市内における事業化を図った。

#### 〔事業化されたアイデア〕

- 非使用時のデザインエコバッグ「Crepeco（クレペコ）」：2事業者
- 京丹後発ご当地バーガー「黒丹バーガー」：1事業者

#### 〔経費〕

- コンペ入賞賞金 350千円  
（特賞：150,000円×2、三等賞：50,000円×1）
- 立案謝金（50,000円×6件） 300千円
- コンペ開催に係る旅費 17千円
- 消耗品費・オリエンテーションバス燃料代 21千円
- 委託料 536千円  
（コンペ企画運営委託料・オリエンテーションバス運転委託料）
- 有料道路・駐車場利用料 20千円

### 【事務事業評価】

コンペ対象となったアイデアは優秀なもので、事業化の可能性を秘めている。既に市内事業者により事業化されたものもあり、かつ現在事業化検討中の案件も数件ある。

### 【主な特定財源】

府補 未来づくり交付金（起業アイデアコンペ開催事業） 430千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	07 産学連携推進コ-デ-イネ-ト事業			決算書
細事業名	02 産学連携コ-デ-イネ-ト事業			P.256
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
366千円	453千円	87千円	80.7%	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

「連携・協力に関する包括協定」を締結している国立大学法人京都工芸繊維大学の協力のもと、「事業経営・技術相談会」を開催した。

また、京都工芸繊維大学の創立60周年事業の一環として出展された「大学サイエンスフェスタ in Tokyo」に参加し、本市の観光や丹後ちりめんのPRを行った。

#### ○ 事業経営・技術相談会

- ・ 開催日 平成21年12月7日（月）
- ・ 相談件数 4件
- ・ 内容 製品開発・知財管理・販売戦略・経営方針

#### ○ 大学サイエンスフェスタ in Tokyo

- ・ 開催日 平成21年11月20日（金）～11月29日（日）
- ・ 場所 国立科学博物館
- ・ 来場者数 16,000人
- ・ 事業費 366千円
  - （内訳） 旅費 319千円
  - 荷物運送料 43千円
  - 高速道路通行料 4千円

### 【事務事業評価】

深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中ではあるが、「事業経営・技術相談会」に4件の相談があり、うち1件は特許申請へとつながった。

今後の景気回復期の躍進に向けて、相談事業を継続することは重要である。

### 【主な特定財源】

府補 未来づくり交付金（産学連携コ-デ-イネ-ト事業） 50千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事 業 名	07 産学連携推進コ-デ-イネ-ト事業		
細 事 業 名	03 産学連携推進事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,875千円	1,920千円	45千円	97.6 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京都工芸繊維大学京丹後キャンパス（京丹後市京都工芸繊維大学地域連携センター）の修繕等を行うことで、京丹後市の産学公連携の拠点施設の維持に努めた。

- 京丹後キャンパス内の故障箇所の修繕費 275千円
  - ・ トイレセンサー交換
  - ・ 雨漏り修繕
  - ・ ウッドデッキ塗布用防腐剤購入

丹後機械工業協同組合が実施する販路開拓事業（交流促進事業）に対して補助金を交付し、「丹後ハイテクランド」としての集積技術を、有効かつ効果的な展示会に出展し広域的にPRした。また、丹後機械金属業界として、企業間連携により既存の技術を活し、鉄道車両の製造について、その可能性の調査を行った。

- 機械金属産業総合振興事業費補助金 1,600千円

**【出展展示会】**

- ・ 難加工技術展2009（7月7日～9日：ポートメッセ名古屋）
- ・ 第13回機械要素技術展（6月24日～26日：東京ビックサイト）
- ・ 第12回関西機械要素技術展（10月7日～9日：インテックス大阪）
- ・ テクノメッセ東大阪2009（11月6日～7日：マイドーム大阪）
- ・ 京都ビジネスパートナー交流会2010（2月18日～19日：京都パルスプラザ）

**【鉄道車両製造に係る調査】**

- ・ 視察先 新潟トランス株式会社
- ・ 視察日 平成21年11月26日

※専門的な知識・経験・ノウハウ・設備が必要であり、丹後地域では困難

**【事務事業評価】**

産学公の連携拠点施設の維持及び産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「産官学による研究・開発体制の確立」を図る上でも必要な事業である。

販路開拓については継続して事業実施し、経営環境に合わせて産学連携による新商品開発等の取り組みに対しても支援をしていく。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり補助金（機械金属産業総合振興事業費補助金） 790千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	09 地域資源活用推進コ-ディネ-ト事業			決算書
細 事 業 名	01 地場産業経営革新等対策事業			P.258
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
213千円	215千円	2千円	99.0 %	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

本事業は、事業者が行う試作開発、より主体的かつ積極的な販路開拓の取り組みの活発化を図るため、セミナーの実施、バイヤー・連携企業等の招へいなどを行うコーディネート事業である。

平成21年度は、シルク価値創造ジャパンビジョン具現化検討委員会（(独)中小企業基盤整備機構）と連携し、丹後のシルク素材を発信した。

○ シルク価値創造ジャパンビジョン具現化検討委員会 委員招へい

委員 永森達昌氏 平成21年10月25日（日）～26日（月）

委員 酒井美和子氏 平成21年10月25日（日）～26日（月）

費用弁償 89千円

○ 職員旅費

普通旅費 87千円

○ 外部広報・出展用試作品購入等

消耗品費（バイオ繊維製靴） 37千円

上記事業を経て「シルクでリアルリユクス」展に出品（2社）

開催：平成22年2月8日（月）～2月10日（水） RIN（東京都港区北青山）

出展：シルクスカーフ、バイオシルク製品、バイオ繊維製靴など

（参考）平成21年度は、セミナーについては人材育成緊急対策事業で実施したため講師調整のみを本事業で行った。また、企業・事業連携は個別プロジェクト化し別細事業で実施した。

### 【事務事業評価】

よりよいコーディネート対象（外部企業・外部人材・場など）の開拓を行い、市内事業者の積極的な販路開拓、経営革新等の取り組みを推進する。

### 【主な特定財源】

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	11 人材育成事業			決算書
細事業名	01 人材育成事業			P.258
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
19,211千円	20,051千円	840千円	95.8 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

府北部地域のものづくり産業の振興を図ることを目的とした「丹後・知恵のものづくりパーク」の研修事業及び施設管理費用について、一部負担することにより、地域産業振興事業の円滑な実施を図るとともに、地元企業が事業活動を行う上で必要とする知識、技術等を習得するための人材育成を推進した。

- 負担金 19,211千円
  - ・ 人材育成研修事業負担金 6,876千円
  - ・ 管理運営事業負担金 12,335千円

(参考) 人材育成研修事業受講者数実績

- ・ NC旋盤実践技術研修 6人
- ・ ISO内部監査員養成講座(2講座) 34人
- ・ 3軸マシニングセンタ実践技術研修 5人
- ・ 北部ものづくり人材・スキルアップ緊急対策事業 延べ6,126人  
(講座22回実施：雇用調整助成金制度対象研修)

**【事務事業評価】**

ものづくり人材育成、地域中小企業への経営・技術の総合支援等、府北部地域のものづくり産業の振興を図るための各種事業の実施を円滑に実施することが出来ている。今後、さらなる企業ニーズに沿った人材育成事業の実施を行う必要がある。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	02 商工団体等支援事業			決算書
細 事 業 名	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金			P.254
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
31,140千円	31,140千円	0千円	100.0%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

丹後地域の地場産業振興拠点である丹後地域地場産業振興センターの運営管理及び丹後ブランド商品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報収集・提供など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対して補助金を交付した。

○財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 31,140千円

**【主な事業内容】**

新製品、新技術の開発研究を行うため、各種セミナー等を開催

地場製品の常設展示即売の実施

Tango Good Goods認定事業及び販売促進の実施（21年度認定者数：38社）

各地域の地場産業振興センター主催物産展、各種展示会・イベント等への出展

消費者ニーズの収集・分析及び各種事業者への情報提供

施設の維持管理及び運営 等

**【事務事業評価】**

販路拡大のための販売促進支援、新たな顧客確保など、丹後地域における地場産業の振興を図る上で重要な事業を行っている。今後、さらなる地場産業の振興を図る上でも、日々変化する社会情勢に注視しつつ、実施事業等の検討を行う必要がある。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事 業 名	04 企業立地推進事業		
細 事 業 名	01 企業誘致雇用創生促進事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
2,934千円	2,946千円	12千円	99.5 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域内の企業成長に伴う雇用機会の拡大など市民生活の充実・発展と、産業横断的な地域経済の活性化を図るため、企業立地（企業・工場の新増設や誘致）を促進する事業を実施した。

- 市外の企業に対して企業立地に関する意向調査を実施  
（送付：12,039件 回答：1,378件）

企業立地推進業務委託料 1,050千円

- 京丹後市企業立地ガイドの作成（400部）

リーフレット作成委託料 388千円

印刷製本費 100千円

- リアルタイムで企業情報（10社）・倒産情報・業況判断等の情報を取得

企業情報検索システム使用料 567千円

- 市立図書館に市内立地企業の関連資料を設置

備品購入費（ラック×2） 30千円

- 企業訪問、会議出席、その他

旅費 605千円

燃料費 4千円

有料道路通行料・駐車場使用料 65千円

その他消耗品 45千円

- 京都府市町村企業誘致推進連絡会議負担金 80千円

〔その他〕 ・企業立地ガイド（簡易版）及びアンケートを封入したダイレクトメールを送付（2,009件）

・「雇用及び地元企業活動・企業誘致促進対策に関する申合せ」を豊岡市との間で取り交わし（平成21年10月22日）

**【事務事業評価】**

企業誘致実績は得られていないものの、事業連携への着手3件、新増設1件の実績があった。企業への継続訪問のほか新規の関係構築へ向け機会創出活動を継続して進める。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	04 企業立地推進事業			決算書
細事業名	02 工場立地奨励金			P.256
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
9,086千円	9,086千円	0千円	100.0%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京丹後市工場立地促進条例の規定に基づき、従業員規模により3千万円または5千万円以上の設備投資を行い、かつ、常用雇用者を3人以上増加させた企業に対して、固定資産税相当額を交付する（最初に課税された年度から5年以内）ことにより、市内における工場の新設および増設等を促進するとともに、雇用の安定拡大に寄与することができた。

○ 工場立地奨励金 9,086千円

- ・ 工場新增設奨励金 9,086千円
- ・ 交付決定件数 6件

**【事務事業評価】**

企業誘致に関する支援制度は益々重要度を増しており、今後より一層充実させていくことが必要である。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	04 企業立地推進事業			決算書
細 事 業 名	04 工業団地維持管理事業			P.256
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
79千円	104千円	25千円	75.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

工業団地内の水路清掃、照明灯修繕等を行うことにより、立地企業の事業環境の維持管理に努めた。

○ 赤坂工業団地出入口看板照明灯電気料等	37 千円
○ 大山工業団地清掃委託料	39 千円
○ 大山工業団地水道管布設敷地使用料	3 千円

**【事務事業評価】**

水路清掃、照明灯修繕等により適切な維持管理が図られた。今後も現場状況を把握しながら、必要に応じた維持管理を行っていく。

**【主な特定財源】**

使用料 公有財産使用料 13千円

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事 業 名	10 工業用地造成事業特別会計繰出金		
細 事 業 名	01 工業用地造成事業特別会計繰出金		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
56,000千円	56,000千円	0千円	100.0%

【主要な事務・事業及び成果の概要】

【成果の概要】

森本工業団地造成事業に対し、地方債償還元金、地方債償還利子等について、一般会計からの繰出しを行った。

【事業内容】

工業用地造成事業に対する繰出金 56,000 千円

<内訳> }

- ・ 事務費等 564 千円
- ・ 起債償還元金 43,902 千円
- ・ 起債償還利子 11,534 千円

[平成21年度工業用地造成事業特別会計の事業内容] (単位：千円)

	事 業 費			
	現年度分	遡次繰越分	明許繰越分	合 計
事 務 費	564			564
委 託 料			22,038	22,038
工事請負費		507,099		507,099
公債費	元金	45,554		45,554
	利子	11,534		11,534
合 計	57,652	507,099	22,038	586,789

【事務事業評価】

造成工事中であり、起債対象外となる費用に対しての繰出しはやむを得ない。

【主な特定財源】

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

会 計 名	工業用地造成事業特別会計	決算書 P.242
-------	--------------	--------------

歳 入 決 算 額 ①	歳 出 決 算 額 ②	歳入歳出差引額 (①-②)
589,245千円	586,789千円	2,456千円

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

**【成果の概要】**

大宮町森本地区において森本工業団地の造成を行っており、平成21年度は造成区域内に出現した岩盤の破碎工事や破碎後の土砂搬出工事等を行った。

**【事業内容】**

○委託料 22,038千円

造成工事の施工監理のための現場技術業務、団地内用地の登記に向けての確定測量業務等を行った。

○工事請負費 507,099千円

硬い岩盤の出現により工事が遅延していた第1工区が平成21年6月に工事完了。その後、岩盤破碎工事の実施を踏まえ土砂搬出工事に着手した。また、団地内の公園整備、植栽等、附属工事も並行して実施した。

○その他義務的経費等（公債費、事務費） 57,652千円

**[事業費内訳]**

		事業費（千円）				
		現年度分	逓次繰越分	明許繰越分	合計	
歳入	一般会計繰入金	56,000			56,000	
	前年度繰越金	2,937	91	1,217	4,245	
	市債		507,000	22,000	529,000	
	合計	58,937	507,091	23,217	589,245	
歳出	事務費	564			564	
	委託料			22,038	22,038	
	工事請負費		507,099		507,099	
	公債費	元金	45,554			45,554
		利子	11,534			11,534
合計	57,652	507,099	22,038	586,789		

■平成22年度への繰越事業費（逓次繰越額） 197,392千円  
平成22年9月末完成予定

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	03商工施設費	
事 業 名	02 商工施設指定管理運営事業			決算書
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業			P.260
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
4,133千円	4,133千円	0千円	100.0 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京丹後市商工会が指定管理者である市内の商工業施設について、施設・設備の維持管理、運営等に必要な経費の支出を行い、適正な維持管理等に努めた。

○ 指定管理委託料

- ・ 京丹後市大宮織物ホール 3,755千円  
施設利用人数：延3,955人（太極拳・よさこい・合唱団等）
  
- ・ 京丹後市丹後商業活性化センター 378千円  
施設利用団体：1階 京丹後市観光協会丹後町支部等  
2階 京丹後市商工会丹後支所

**【事務事業評価】**

京丹後市商工会により、市内の商工業施設の維持管理等が適正に行われた。

**【主な特定財源】**

諸収入 大宮織物ホール電気料 371千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	01 商工会助成事業			決算書
細事業名	01 商工会助成事業			P.254
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
95,040千円	95,041千円	1千円	99.9%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京丹後市商工会が実施する事業に対して補助金を交付した。

- 小規模事業経営支援事業費補助金 82,600千円  
 京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業への支援を行い、商工業者の経営の安定を図った。  
 ・補助対象経費 260,257千円
  
- 織物指導事業費補助金 12,080千円  
 延べ3,255件の織物指導を実施し、織物業者の技術力向上及び丹後ちりめん等の品質向上を図るとともに、織物業者の経費負担の軽減を図った。  
 ・補助対象経費 12,119千円
  
- 優良従業員表彰事業費補助金 360千円  
 市内の永年勤続従業員のうち、勤続20年の89人に対して市長表彰を行った。  
 受賞者に永年の業績を振り返っていただくことにより、次の10年への励みとしていただくこと、またそれを通して市内企業の振興・活性化を図ることを目的として、市内企業の従業員に対し勤続10年ごとに表彰が行われているが、このうち勤続20年の分について市長表彰を行っている。  
 (同時に行われる表彰) 10年表彰：京丹後市商工会長表彰  
 30年表彰：丹後労働基準監督署長表彰  
 40年表彰：特別功労者表彰

**【事務事業評価】**

現下の厳しい経済環境に対応するため、経営相談、金融斡旋、巡回指導をはじめ地域振興に資する事業を行い、商工業の振興に努めた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	03 経営支援事業			決算書
細事業名	02 信用保証料補助金			P.256
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
120,419千円	120,422千円	3千円	99.9%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

厳しい経済情勢を勘案し、平成21年度中に実行された融資に係る保証料については全業種100%補助とし、かつ、建設業者に限り限度額を60万円に引き上げ（その他の業種は40万円）という特例措置を行った。

補助制度の拡充により、事業者の事業資金借入時負担の更なる軽減に役立ち、キャッシュフローの改善など経営の安定化に資することができた。

○信用保証料補助金 120,419千円  
 交付決定件数 564件

(単位：件、千円)

業種		建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店・宿泊業	その他	合計
H21	件数	137	142	166	72	47	564
	交付額	34,285	26,823	34,034	15,125	10,152	120,419
H20	件数	177	172	165	90	53	657
	交付額	43,751	28,973	29,348	12,156	7,543	121,771

※平成20年度は、平成20年11月以降に実行された融資に係る保証料について全業種100%補助とし、建設業者に限り限度額を60万円とした。

**【事務事業評価】**

厳しい景況が続く中、従来制度を拡充することにより、商工業者の資金調達の円滑化及び財務上の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	03 経営支援事業			決算書
細事業名	01 あんしん借換資金等利子補給事業			P.256
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
247,952千円	248,709千円	757千円	99.6%	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

平成21年度は、従来の利子補給制度のほか、京都府中小企業融資制度に基づく『あんしん借換融資』の利子について全額補給という特例措置を設けた。その結果、売上減少や利益率低下により資金繰りが厳しくなっている事業者に対し、『あんしん借換融資』の利用による実質的な返済条件の変更や据置期間の設定を行いやすくし、経営の安定化を促進した。

○商工業経営安定利子補給金 247,952千円

・新市制度分                      交付決定件数    2,015件                      247,906千円

【内訳】

あんしん借換融資制度	1,029件	207,976千円
その他府融資制度	645件	33,508千円
京丹後市商工業融資制度	33件	298千円
政府系金融機関融資制度	308件	6,124千円

・旧町制度分                      交付決定件数                      5件                      46千円  
(峰山町のみ)

### 【事務事業評価】

信用保証料補助制度とともに、資金借入に伴う負担を軽減することにより、設備投資や運転資金の借入を行いやすくするものであり、またその特例措置は、借換による有利な借入への移行や、実質的条件変更及び据置期間の設定を行いやすくするものであり、市内商工業者の経営安定化への効果は大きい。

### 【主な特定財源】

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	
事 業 名	05 あんしん雇用環境づくり事業			決算書
細 事 業 名	01 あんしん雇用環境づくり事業			P.214
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
135,286千円	135,286千円	0千円	100.0%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

昨今の急速な景気の後退により、本市産業の状況も一層厳しい状況となる中、受注減少などに伴う事業活動の縮小を余儀なくされた事業者に対し、国の中小企業緊急雇用安定助成金とあわせ、市独自の助成金を交付することにより、解雇の徹底予防を図るとともに、事業主の経費負担の軽減を図ることができた。

○中小企業緊急雇用安定助成金 135,286千円

- ・ 交付決定件数 987件
- ・ 利用事業所数 125社

**【事業内容】**

景気の変動等により生産量が減少し、事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業主が雇用者を一時的に休業または出向させた場合の休業手当等に係る基準賃金額の一部を助成

**【事務事業評価】**

経済情勢は未だ回復の兆しを見せておらず、当面は厳しい状況であることが予想される。解雇の徹底予防を図るためにも、引き続き本事業を継続していく必要がある。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり交付金（中小企業緊急雇用安定助成金） 36,880千円

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事 業 名	08 商工業活性化交流事業		
細 事 業 名	01 商工業活性化交流事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
2,000千円	2,080千円	80千円	96.1 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域産業の活性化を図るために活動を行っている『丹後地域産業活性化推進会議』に対し、負担金を支出した。

○ 丹後地域産業活性化推進会議負担金 2,000千円

(参考)

丹後地域産業活性化推進会議の構成

- ・ 会員36人 行政10人、商工会4人、丹後機械工業協同組合3人、丹後織物工業組合2人、事業者17人
- ・ 顧問4人 京都府丹後広域振興局長ほか

丹後地域産業活性化推進会議の主な活動実績

- ・ FM京都「αステーション」による誘客に向けた情報発信を実施
- ・ 光電話加入による企業のコスト削減に向けた取り組みを実施
- ・ 情報収集を図るため、外部団体との交流を実施
- ・ 営業力、販売力強化のためのセミナーを実施

**【事務事業評価】**

京丹後市イベント補助金の削減、入込観光客の減少等を踏まえ、積極的なPR活動による誘客増加に向けた取り組み等、活性化のための活動が実施された。引き続き、活性化に向けた取り組みを推進する。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	02 商工団体等支援事業			決算書
細事業名	04 和装産地関連事業負担金			P.254
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
80千円	80千円	0千円	100.0%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

和装産業の振興を図るため、負担金を支出した。

- 全国和装産地市町村協議会負担金 30千円  
京丹後市をはじめ全国の和装産地市町村で組織する「全国和装産地市町村協議会」に負担金を支出し、協議会活動に参画することにより、和装産業の振興を図った。  
・参加自治体数 16自治体
- 森田翁顕彰会負担金 50千円  
京丹後市、丹後織物工業組合、京丹後市商工会及び地元の織物関係団体で組織する「森田翁顕彰会」に負担金を支出した。

**【事務事業評価】**

協議会及び顕彰会へ負担金を支出し、活動に参画することは、和装産業の振興・発展を図るうえで必要である。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	02 商工団体等支援事業			決算書
細 事 業 名	05 ちりめん関連事業補助金			P.254
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
1,440千円	1,440千円	0千円	100.0 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

○京丹後市きもの交流会補助金 1,440千円

京丹後市きもの交流会が行う会員の事業経営や商品開発等に係る能力の向上、加えて和装や丹後織物の魅力発信を目的とした活動に対し支援を行い、本市の織物業並びに関連産業の振興を図った。

- ・補助対象経費 2,506千円
- ・会員数 22社

**【平成21年度事業概要】**

- ・京都文化博物館などにおける、丹後の染織文化や丹後ちりめんの展示などを通じた魅力発信
- ・丹後織染産地のモノづくり現場の一般公開を目的とした、会員の工房情報を掲載したリーフレットの製作
- ・市内全9中学校の卒業生を対象とした、ちりめん製卒業証書の製作
- ・地元の和装並びに地域振興行事である京丹後ちりめん祭などへの参加協力
- ・近畿日本ツーリストとタイアップした、きもの体験企画ツアーの実施
- ・地場産品と観光を結びつけるヒントを得ることなどを目的とした視察研修の実施
- ・地元住民の和装着用促進を目的とした、きもの着付け教室の開催

**【事務事業評価】**

京丹後市きもの交流会が行う幅広い活動は、織物関連産業のみならず地域の振興や活性化につながるものであるため、今後も継続して支援を行っていく必要がある。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり補助金（京丹後市きもの交流会補助金） 633千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事 業 名	02 商工団体等支援事業			決算書
細 事 業 名	06 丹後ファッションウィーク開催委員会補助金			P.254
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
7,857千円	7,857千円	0千円	100.0 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

「丹後織物」の新しい魅力の発信による認知度の向上と、日本最大の絹織物産地「丹後」の競争力の強化を図るため、丹後ファッションウィーク開催委員会に対して補助金を交付した。

○丹後ファッションウィーク開催委員会補助金 7,857千円

**【販路開拓事業】**

国内最大の繊維総合見本市「ジャパン・クリエーション2010A/W」に、京丹後市及び与謝野町の企業16社が合同ブースを構えて出展し、商談活動を展開した。

- ・開催日及び会場：10月7日～9日、東京国際展示場（東京ビッグサイト）
- ・商談件数：81件（内新規56件）      ・来場者数：約2万7千人

**【産官学連携事業】**

関西圏のファッション関連校4校と連携し、産地見学や織物事業者との交流、また、学生の作品制作に生地を提供し、連携校主催の制作発表会等を通じて、丹後織物のPRを行った。

- ・連携校      東洋きもの専門学校、京都造形芸術大学、上田安子服飾専門学校、ディースファッション専門学校

**【和装産地間連携事業】**

「第1回日本染織文化博覧会」出展

- ・開催日及び会場：10月23日～25日、日本橋プラザ
- ・出展事業者：2社      ・展示協力：3社      ・来場者数：約9,900人

「京ものフェスティバル2010」出展

- ・開催日及び会場：3月20日～22日、京都市勧業館みやこめっせ
- ・出展事業者：絹友会      ・来場者数：約15,000人

**【事務事業評価】**

本事業は、丹後織物全体の需要拡大並びに織物関連産業の活性化につながるものであるため、今後も産地行政、織物関係団体及び織物事業者がより一層の連携を図りながら、継続して取り組んでいく必要がある。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり補助金（丹後ファッションウィーク開催委員会補助金） 3,800千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費
事 業 名	05 織物業実態統計調査事業		
細 事 業 名	01 織物業実態統計調査事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
105千円	120千円	15千円	87.5 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

織物業の振興に必要な施策を検討することなどを目的に、市内織物業者を対象に平成20年度に実施した京丹後市織物実態統計調査の報告書を作成し、織物事業者や関係機関などへの配付を行った。

- 印刷製本費                      105千円
- 作成部数                        300部
- 配付先                          156か所（金融機関、機業団体、国・府機関等）

**【事務事業評価】**

本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物事業者や関係機関などにフィードバックすることにより、織物業の振興・発展を図るため、今後も継続して調査事業を行っていく必要がある。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	12 シルクのまちづくり市町村協議会設立経費			決算書
細事業名	01 シルクのまちづくり市町村協議会設立経費			P.260
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
483千円	554千円	71千円	87.1%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

「シルクのまちづくり市区町村協議会」の設立発起自治体の一つである本市が設立準備事務局を担い、平成22年1月26日に全国25自治体が集結し協議会が発足。協議会設立後は、本市が事務局を担い、シルク産業の振興・発展に向け活動を展開した。

**【協議会の概要】**

- ・ 目的                   シルクに関連する産業またはシルクに関係する歴史・文化を持つ自治体等が連携し、シルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを推進する。
- ・ 自治体会員数       25市区町村（平成21年度末時点）
- ・ 特別会員           5人（経済産業省などの職員）
- ・ 顧問               9人（ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナーなど）
- ・ 協賛団体           23団体（蚕糸団体、産地織物組合・絹業関連団体）
- ・ 活動内容           会員間における情報交換、協議会HPの開設、会員向けメールマガジンの発行、一般向け情報誌の発行、シルク関連フォーラムの開催

○ 職員旅費	346千円
○ 事務用品費	134千円
○ 荷物運送料	3千円

**【事務事業評価】**

全国のシルクに関係する自治体並びに業界団体などで組織する本協議会の活動を推進することは、シルク産業・シルク文化に関わる諸課題の解決ほか、シルク関連産業における新たな需要の掘り起こしや、産地間で連携したシルク関連製品の開発にもつながることが期待できるなど、シルク関連産業の振興・発展を図る上で必要である。

**【主な特定財源】**

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費
事業名	01 峰山織物センター-管理運営事業		
細事業名	01 峰山織物センター-管理運営事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
3,247千円	3,472千円	225千円	93.5%

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

本施設の会議室や研修室利用者には各種文化団体や福祉団体が多く、各種活動の増進に寄与している。また、京丹後市職業訓練校及び峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得及び能力の向上などスキルアップの場として利用されている。

○ 目的別利用件数

会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	相談業務	その他	合計
149件	5件	222件	136件	129件	4件	11件	656件

○ 部屋別利用件数

大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計
227件	79件	53件	297件	656件

○ 延べ利用人数 9,179人

○ 管理運営経費

・ 宿日直代行業務委託料	1,687千円
・ 電気代、上下水道料	901千円
・ 機械警備委託料	210千円
・ 土地借上料	185千円
・ 消耗品費、燃料費、修繕料	162千円
・ 電話代	43千円
・ 公有建物共済分担金、NHK受信料等	59千円

**【事務事業評価】**

年間約9千人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営に努める。

**【主な特定財源】**

使用料 公有財産使用料	110千円
使用料 峰山織物センター-使用料	103千円

事業所管課	商工観光部／商工振興課
-------	-------------

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	
事業名	09 地域資源活用推進コ-デ-イネ-ト事業			決算書
細事業名	02 バイファイバ-活用型丹後ちりめん新展開事業			P.258
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
6,540千円	6,650千円	110千円	98.3%	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

植物由来繊維製品（耐熱性ポリ乳酸繊維・バイオファイバー）にテーマを明確化し、テーマに基づいた独自の新製品開発と展示商談会への出展、主体的市場間連携の構築を試みる一連の事業を実施した。

専門家の招へい、新製品の試作開発、展示商談会出展及び広報の各事業を一体的に実施した事業。

- 帝人株式会社（繊維メーカー）・小西紀子氏（デザイナー）との連携（延9回）
  - 報償費 513千円（専門家招へい・指導謝金など）
  - 旅費 676千円（専門家招へい・費用弁償など）
  - 新商品開発研究事業委託料 398千円（専門家試作開発経費）
- 新製品試作開発を市内繊維関連企業から公募・委託（5社）
  - 地域資源活用型新製品開発委託料 1,999千円（試作開発経費・公募型）
- エコプロダクツ2009展出展（ブース来場約2,100人）
  - 平成21年12月10日～12日 3日間 東京ビッグサイト
  - 需用費 390千円（消耗品・印刷製本など）
  - リーフレット作成委託料 150千円（展示商談会用パンフレット）
  - 会場設営委託料 1,050千円（展示商談会ブース設営）
  - 使用料及び賃借料 1,090千円（展示商談会出展料など）
- 上海万博・パビリオンユニフォームに採用（キッコマン(株) 料亭MURASAKI）
  - シルク+バイオファイバー丹後ちりめん製着物 21点
  - 上海万博・日本産業館出展負担金 274千円（成果品展開負担金）

### 【事務事業評価】

事業者が個別に取り組む性質の事業であるため、事業者による主体的事業展開を支援する。

### 【主な特定財源】

国補 電源地域産業育成支援補助金 1,519千円

事業所管課	商工観光部／産業雇用総合振興課
-------	-----------------

## 平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	商工業の振興	担当部局
		商工観光部
評価結果	<p><b>1 施策目的について</b></p>	
	<p>(1) 最も重要な施策目的が、「新しい産業の育成、働く場所の確保」であることは妥当である。</p> <p>しかし、商工業振興は総合的な施策であり、他にも「各産業の連携の強化」「地元商業の振興と商業者への支援」「新・丹後ちりめん産業の総合的な支援」等の施策方針がある。これらの推進も必要であるため、相互関係や重要度を踏まえ目的に掲げるべきである。</p> <p>(2) 最も重要な施策目的である「新しい産業の育成、働く場所の確保」の達成度を計る指標として、雇用者数がある。これをめざす目標の指標に入れるべきである。</p> <p>(3) 大学と連携・協力することは、産業振興や人材育成を図るうえで効果がある。大学との連携・協力について、目的や施策方針の中で見えるようにすべきである。</p>	
	<p><b>2 施策の達成度について</b></p> <p>不況の中で、商業の販売額が落ちてきているが、資金貸付事業により新規雇用者が創出された。このような成果が出ていること等を踏まえると、この施策はおおむね予定どおりに進んでいると評価する。</p>	
	<p><b>3 事業構成の有効性について</b></p> <p>景気が急激に悪化したことにより、利子補給率や信用保証料補助率の引き上げを緊急的に実施した。このように、事業内容を見直すことによって、課題対応を図っており、事業構成としては、おおむね有効であったと評価する。</p>	
	<p><b>4 事業の優先度について</b></p> <p>商工業者にとって何が重要かということを考えて、優先度の高い事業・低い事業を選択されており、その評価結果は、おおむね妥当である。</p>	
<p><b>5 今後の施策展開について</b></p> <p>(1) 雇用創出のためには企業誘致が必要である。ただし、地元業者の経営が悪化しないような企業誘致を行うべきである。</p> <p>(2) 不況の中では、特に人材の確保・育成が重要である。この点を踏まえて施策展開を図っていくべきである。</p> <p>(3) 市としてできることを何でも実施しようとする姿勢は評価できる。</p> <p>ただし、費用対効果ということがある。例えば、利子補給したことにより企業の成長が見えなければならない。</p> <p>このような不況の中で効果を出すことは非常に難しいが、あらゆる手を尽くして商工業の振興のために努めてほしい。</p>		